

受け継ごう

豊かな自然と歴史 ふれあう心

暮らしたいまち 帰ってきたいふるさと 富田

富田まちづくり計画



鉄塔

ゆるぎ岩

堂山古墳

長圓寺板碑

薬師堂
薬師三尊

畑

窪田

吸谷

福居

谷口

吉野

西谷

谷

西上野

市村

坂元

西谷
西
屋台

岡田遺跡
出土石鏃

乳の井戸

村前遺跡
建物跡

腰折れ地藏

旧阿弥陀堂五重塔

吉野文書

令和7年3月

目次

第1章	はじめに.....	1
第2章	富田地区の現況と課題.....	2
(1)	富田地区の現況.....	2
i.	位置.....	2
ii.	地勢.....	3
iii.	人口・世帯.....	4
iv.	交通.....	5
v.	地域資源.....	6
(2)	地区住民のまちづくりに関する意向把握.....	7
i.	アンケート調査.....	7
ii.	まちづくり計画策定委員会での検討.....	28
第3章	富田地区が目指す将来像.....	49
(1)	まちづくりの将来像.....	49
(2)	まちづくりの基本方針.....	49
i.	農業.....	
ii.	森林.....	
iii.	地域のつながり.....	
iv.	交通.....	
v.	空き家・空き施設.....	
vi.	こども・若者.....	
vii.	高齢者.....	
viii.	女性の参画.....	
ix.	防災.....	
第4章	まちづくりの推進に向けて.....	50
(1)	活動組織の体制.....	50
(2)	今後の活動計画.....	51
i.	農業.....	51
ii.	森林.....	52
iii.	地域のつながり.....	53
iv.	交通.....	54
v.	空き家・空き施設.....	55
vi.	こども・若者.....	56
vii.	高齢者.....	57
viii.	女性の参画.....	58
ix.	防災.....	59
資料編	富田まちづくり計画(ダイジェスト版).....	60

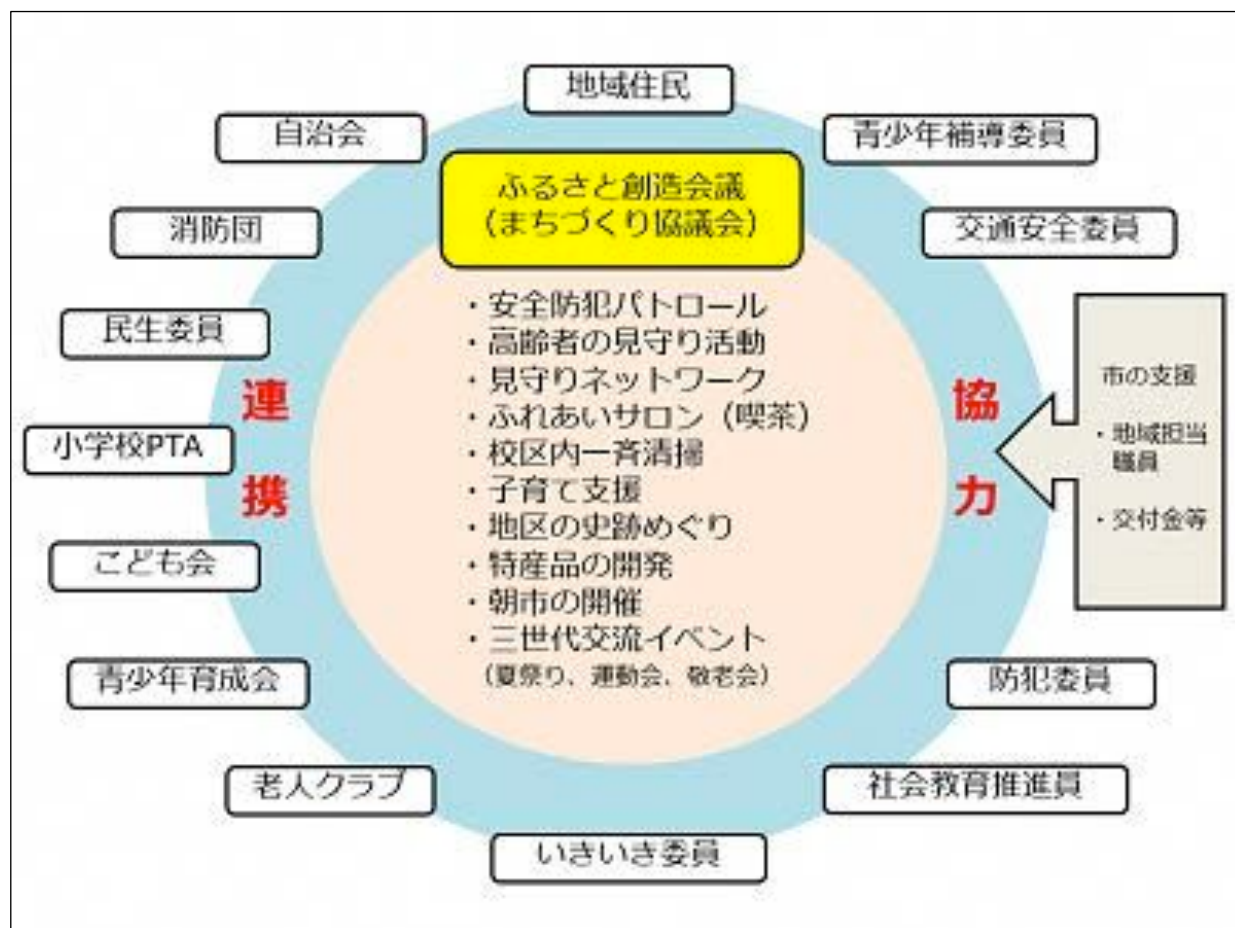
第1章 はじめに

ふるさと創造計画の位置付け

加西市では、少子高齢化をはじめ地域における人間関係の希薄化や一人暮らし家庭の増加、空き家の増加、里山の荒廃、農商工業の後継者不足等々の課題があるなか、地域の持つ条件や置かれた状況により、地域ごとに取組み方を工夫し、行政と住民の協働による、市民が主体となった自治を推進するために、2013（平成 25）年に「加西市ふるさと創造条例」を制定しました。

この条例制定を受け、富田地区でまちづくり協議会（ふるさと創造会議）を、市内で2番目となる2014（平成 26）年4月に設立しています。以後、まちづくり協議会を主体として夏祭り、グラウンドゴルフ、ふれあいハイキングなどの様々な行事や、里味噌づくり、青大豆づくりの特産品の開発・販売を行ってきています。

こうした活動実績をもとに、地域の課題や魅力を把握し、課題解決や魅力増進に基づく地域づくりを図るため、2023（令和 5）年度より多様な地域住民の参画のもと、まちづくり計画を検討し、ここにまとめました。



▲ ふるさと創造会議（まちづくり協議会）のイメージ

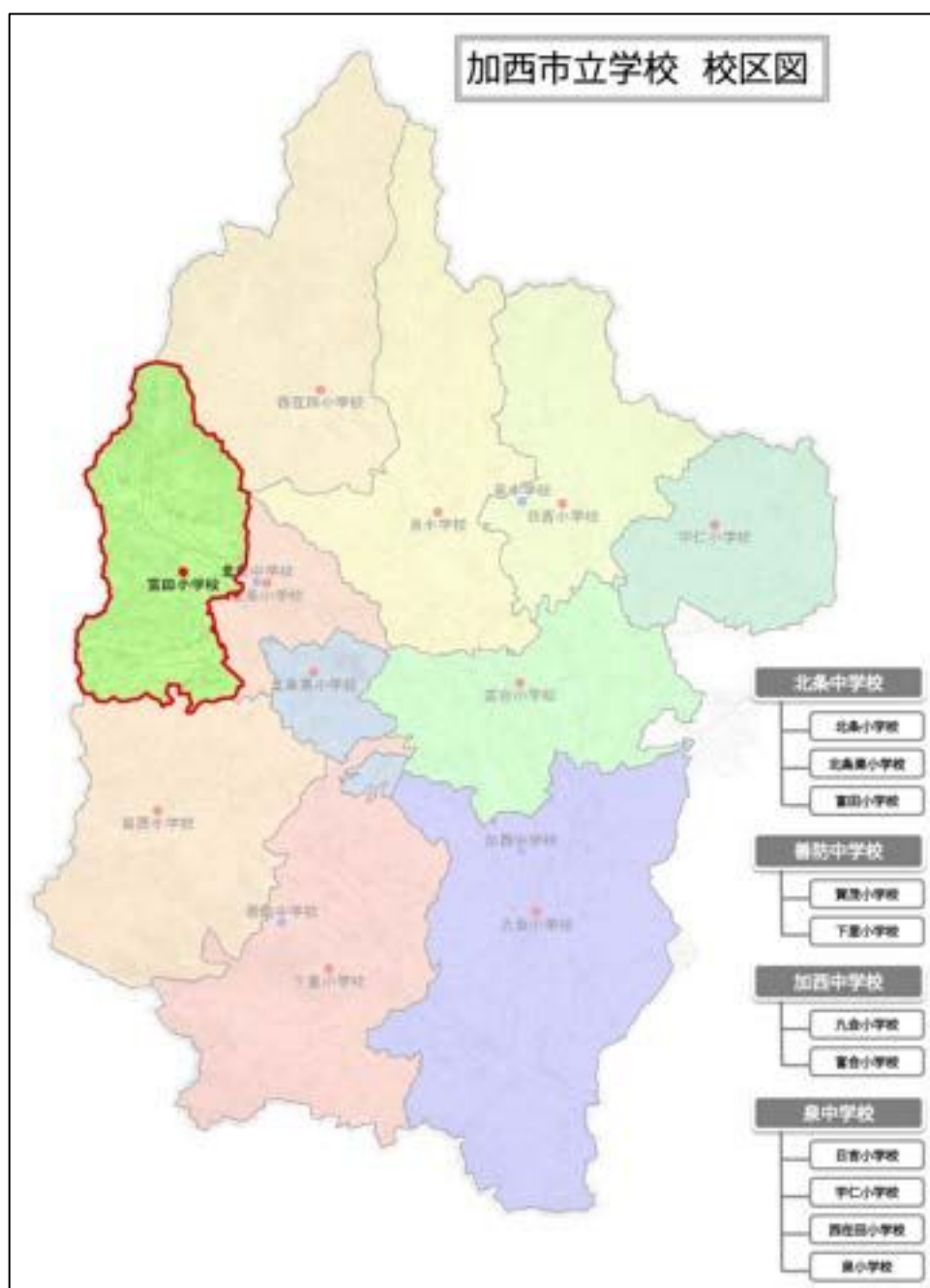
出典:加西市 HP(市政 ふるさと創造会議)

第2章 富田地区の現況と課題

(1) 富田地区の現況

i. 位置

富田地区は加西市の西部に位置し、谷町、西谷東町、西谷西町、畑町、窪田町、吸谷町、西上野町、市村町、坂元町、福居町、谷口町、吉野町、芝自治区、吉野住宅自治区の14の自治会で構成されています。加西市では、ふるさと創造会議（まちづくり協議会）の対象範囲を、基本的に概ね小学校区としており、それは住民同士が互いに顔を合わせやすく、共通の話題を持てること、また、地域活動の歴史を背景とした親しみやすい単位であるという理由から採用されています。富田地区は富田小学校校区に属し、地区面積は約11.66平方キロメートルです。



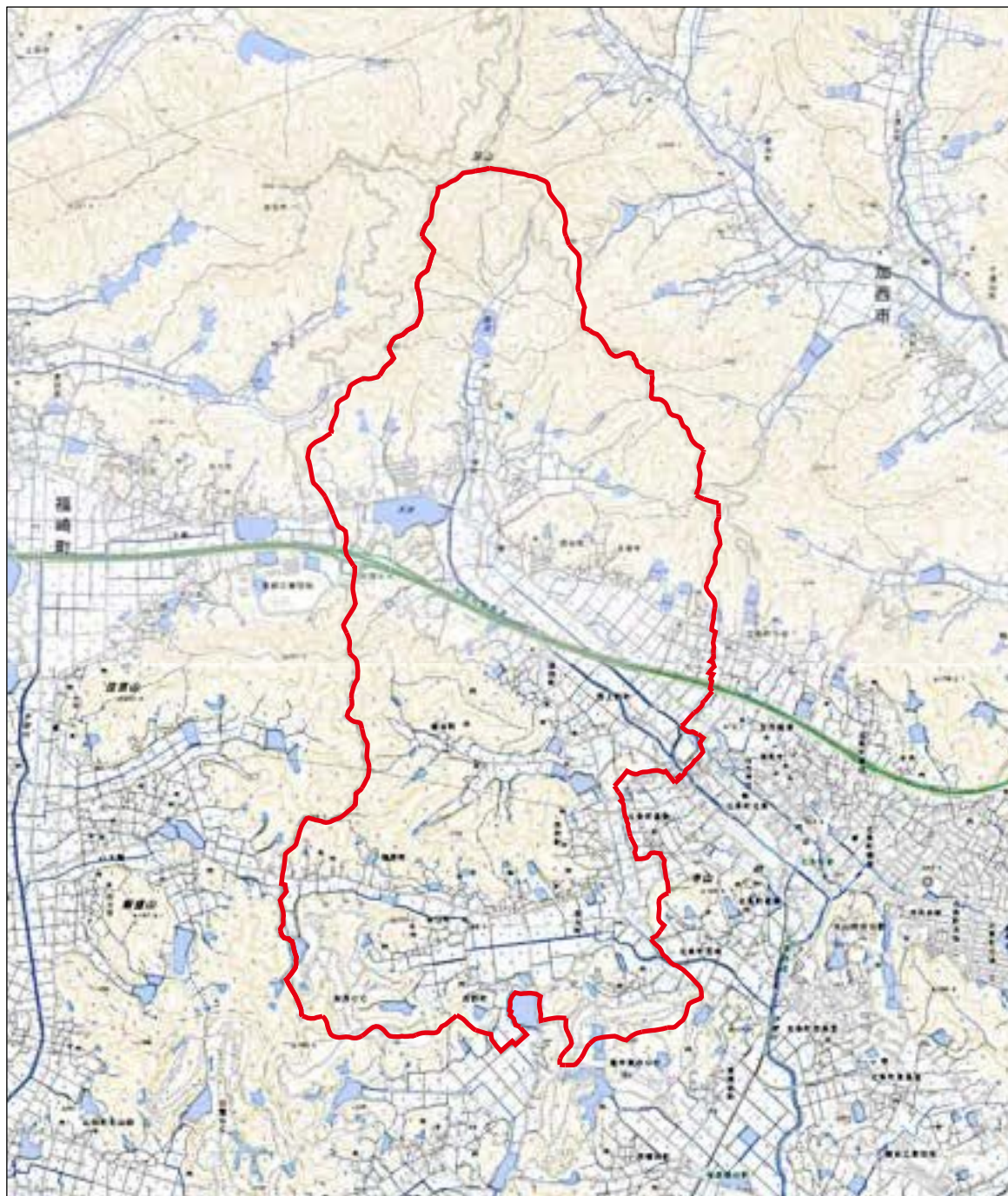
▲ 加西市立学校 校区図

出典：加西市 HP(加西市教育委員会 小学校・中学校の校区)

ii. 地勢

富田地区の北部には、海拔 300～500 メートルの古生層の山地が連なり、中国山地南部の裾野を形成しています。そこを源とする下里川が地区内の中央を流れており、丘陵・段丘面を刻み沖積低地を形成しながら万願寺川に合流し、さらに加古川に合流しています。南部には、海拔 200 メートル程度の低山が連なり、その合間に平地が形成されています。

瀬戸内式気候に属しており、兵庫県全体に比べ年間平均気温が高く、また年間平均降水量は少ないです。そのため水不足に備え、多数のため池が造成され、地区北西部にある大池は、その代表的なものです。

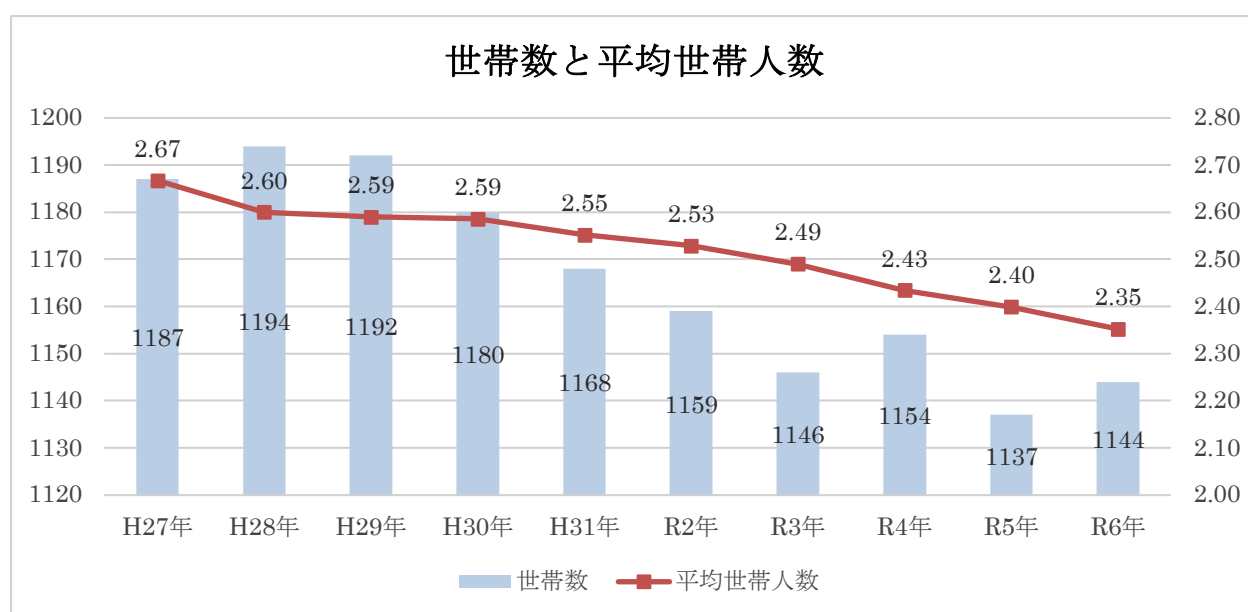
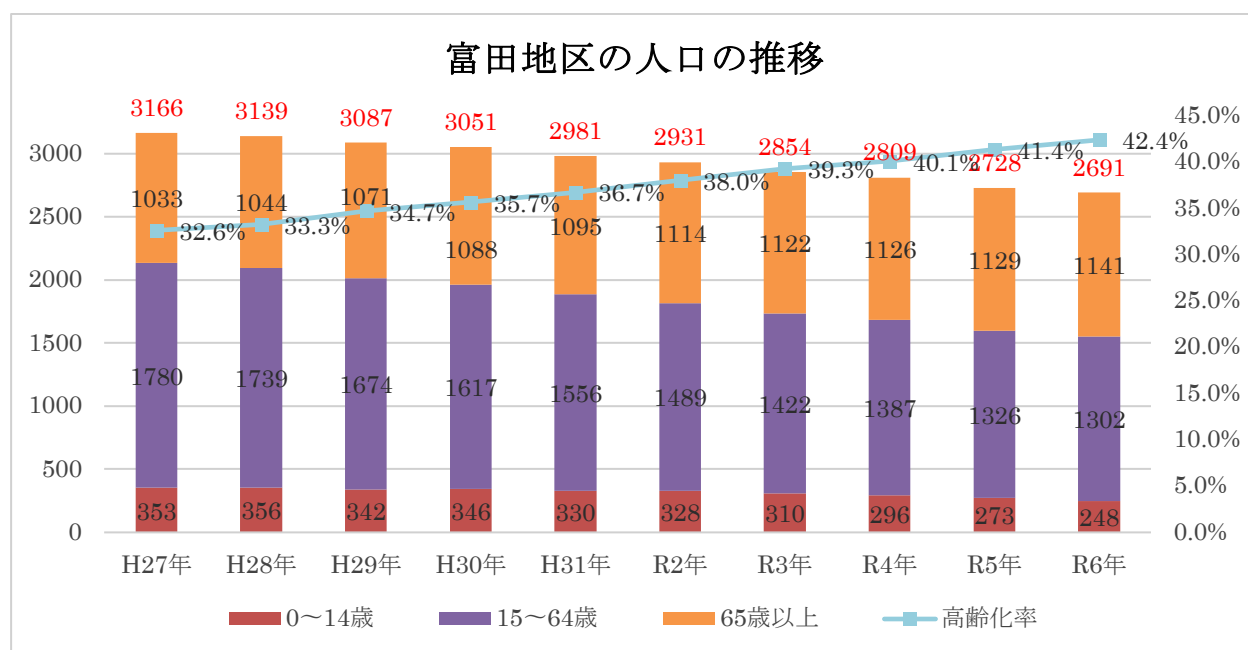


▲富田地区 地形図

iii. 人口・世帯

令和 6 年 12 月 31 日時点における、富田地区内の総人口は、2,691 人（男：1,297 人、女：1,394 人）です。また、0～14 歳の年少人口は 248 人、15～64 歳の生産年齢人口は 1,302 人、65 歳以上の老年人口は 1,141 人となっています。平成 27 年は、総人口 3,166 人でしたが、年々減少しています。また、年少人口、生産年齢人口共に減少しているのに対し、老年人口は年々増加しており、令和 6 年時点の高齢化率は、42.4%で、高齢化が進行しています。

富田地区の世帯数は、平成 28 年度までは増加傾向にありましたが、それ以降は緩やかに減少しています。ただし、令和 4 年と令和 6 年にはわずかに増加が見られるものの、全体的には減少傾向にあります。現在の世帯数は 1,141 世帯です。平成 27 年では、平均世帯人数は約 2.6 人であったのに対し、令和 6 年には約 2.3 人まで減少しており、1 人暮らし世帯が増加している事が推察されます。



出典：加西市 HP(統計情報 町別毎月人口)

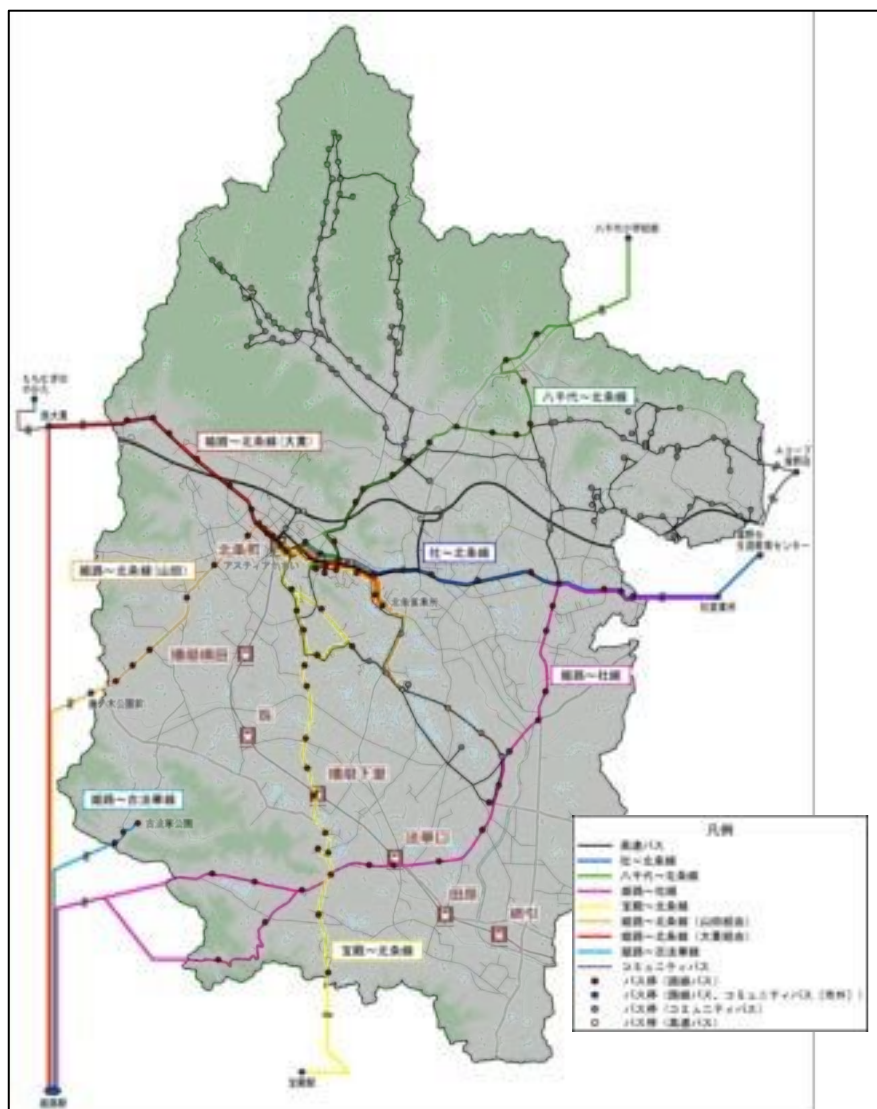
iv. 交通

加西市には、鉄道、高速バス、路線バス、タクシー、コミュニティバス等の公共交通が運行しています。

鉄道は、東に隣接する北条地区から南東に北条鉄道が走っており、JR 加古川線と神戸電鉄粟生線に接続しています。所要時間は、神戸まで約 1 時間、大阪まで約 1 時間半です。富田地区からは、北条鉄道北条町駅が最寄り駅です。

高速道路については、加西市の中央を横断する形で中国自動車道が走っており、加西サービスエリアが地区内に位置し、インターチェンジからも比較的近い距離に位置します。また大阪・神戸方面への高速バスもあり、加西市と隣接市町を結ぶ路線バス、北条町駅を中心に市内を運行するコミュニティバス、ねっぴ〜号と市北西部を運航するハッピーバスも走っています。そして鉄道・バスではカバーできない需要に対しては、タクシーが市民の移動手段としての役割を担っています。

また富田地区では、地域の移動手段として「とみバス」が運行されています。北線と南線の 2 路線があり、イオンモール加西北条やアスティアかさいなど、市内の主要施設を結ぶことで、地域住民の足として活用されるとともに、住民同士の交流の場としての役割も果たしています。



▲ 加西市交通路線図

出典：加西市 HP(令和 5 年 3 月加西市地域公共交通計画)

v. 地域資源

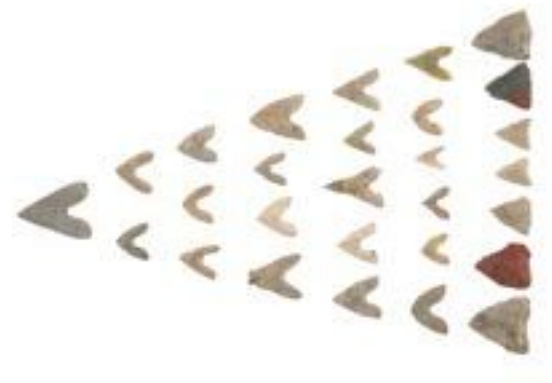
富田地区には多様な地域資源があります。ここでは、富田地区を代表する主な歴史文化遺産を示します。

【遺跡からみる古代の富田】

まちづくり計画書の表題にもある富田地区の「豊かな歴史」は、縄文時代にまでさかのぼることができます。縄文時代の集落である岡田遺跡（西谷東）では、多数の石器が製作された痕跡があり、石器流通の拠点となっていた可能性が指摘されています。

古墳時代になると、この地域でも多数の古墳が造られるようになり、堂山古墳（窪田）のような石室を持つ古墳が各地で現在でも見ることができます。タンダ山2号墳（吸谷・市村）から出土した副葬品の中には鍛冶道具など、早くから大陸の文化が伝わってきていたことがうかがわれます。

こうした先進的な文化の流入が大きく花開いたのが白鳳時代で、金堂と塔を持つ古代寺院の吸谷廃寺（吸谷町）が建立されます。谷の出口に位置する村前遺跡（西上野）では役所跡とあわせて『播磨国風土記』にある「修布里（すふのさと）」^{はりまのくにふどき}の中心的な場所だった可能性が高いと考えられています。



岡田遺跡から出土した石の矢じり

【古代に始まる富田の地名】

古代に登場した地名「修布」は、中世の荘園^{すとのしょう}「須富荘」に継承されます。その後、「須富荘」は「須富荘」と「須富荘北方」の二つに別れ、南^{さかたのしょう}では「坂田荘」が誕生します。

「富田」という地名は、「須富」の「富」と、「坂田」の「田」を合わせた可能性が高いと考えられています。裕福さを示す「富」と、生活の基盤となる「田」をつなげた、地域と子孫の繁栄を願う、先人の思いが込められた地名といえるのではないのでしょうか。



吸谷廃寺の塔の礎石

【三つの神社、三つの大祭】

富田には高峯神社（畑）、住吉神社（北条地区）、八幡神社（谷口）という三つの神社圈があり、住吉神社は春に、高峯神社と八幡神社は秋に盛大にお祭りが開催されます。現在の村の位置や神社圈は、室町時代後期にほぼ確定します。現在継承されている三つの祭りも、その原型は、室町時代にまでさかのぼるものです。



畑西の屋台

(2) 地区住民のまちづくりに関する意向把握

i. アンケート調査

富田地区まちづくり協議会のまちづくり計画策定委員会では、まちづくり計画の策定に向け、地域住民の意見を確認することを目的とした全戸配布のアンケートを実施しました。また、次世代を担う中高生を対象としたアンケートに加え、小学生向けのアンケートも小学校で実施しました。以下に、それぞれのアンケートの概要と集計結果を示します。

実施期間：令和6年11月

配布回収方法：各町の役員が配布及び回収

〈一般向けアンケート(表面)〉

配布戸数：1,141戸（各世帯に配布）

回答数：774件(web回答116件)

回収率：67.8%

〈中高生向けアンケート(裏面)〉

配布戸数：1,141戸（各世帯に配布）

回答数：55件(web回答25件)

〈小学生向けアンケート〉

回答方法：小学校で4年生・5年生・6年生を対象にタブレットでweb回答

回答数：62件

自然豊かな富田を守るため

富田地区全世帯アンケートのご協力をお願いいたします。

富田地区まちづくり協議会では、多様な地域住民の参画のもと、安心安全で魅力ある地域づくりに取り組んでいます。今回、地域で暮らす皆さんが日頃思っていることやご意見をお聞きし、地域の将来に向けた取組みを検討していくため、富田地区の全世帯を対象としたアンケートを実施いたします。

各戸に1枚ずつアンケート用紙を配りますので、「一般向け」については、ご家族のどなたか1名が用紙に必ず記入してください。後日、各町の確保が回収します。またQRコードでの回答が可能ですので、用紙に記入していた方は除き、できるだけご家族全員がご回答ください。なお、中高生の皆さんは「中高生向け」のアンケートを裏面に用意していますので、必ずQRコードでご回答いただくようお願いいたします。



☆回答締切：令和6年11月30日(土)まで

☆回収方法：[用紙回答の場合] 各町の確保が回収します。

☆ご回答いただく方

★用紙（一般向け）：各世帯のどなたか1名（※必ずご記入ください）

★QRコード（一般向け、中高生向け）：対象となる方全員（※用紙に記入した方は除きます）

※特に指定のない場合、当てはまる数字1つに○印をつけてください。

問1 あなたの年齢を教えてください。

- | | | | |
|--------|--------|--------|----------|
| 1. 10代 | 2. 20代 | 3. 30代 | 4. 40代 |
| 5. 50代 | 6. 60代 | 7. 70代 | 8. 80代以上 |

問2 あなたの性別を教えてください。

- | | | |
|-------|-------|------------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. どちらでもない |
|-------|-------|------------|

問3 ご家族の構成を教えてください。

- | | | |
|-------------|----------|---------|
| 1. 3世代以上の同居 | 2. 2世代同居 | 3. 夫婦のみ |
| 4. 単身 | 5. (その他) | |

問4 あなたの現在のお仕事を教えてください。

- | | | |
|--------------|-------|----------------|
| 1. 専業主婦・主夫 | 2. 農業 | 3. 勤め人（パートを含む） |
| 4. 自営業（農業以外） | 5. 無職 | 6. 無回答 |

問5 富田まちづくり協議会を知っていますか。

- | | | |
|----------------|---------------|---------|
| 1. 活動内容まで知っている | 2. 名前だけは知っている | 3. 知らない |
|----------------|---------------|---------|

問6 富田地区の活動として、知っている活動と運営や参加経験のある活動、また評価を教えてください。

富田地区の活動	知らない	知っている		評価	
		参加したことがある	参加したことがない	よかった	悪かった
1. 富田夏祭り	☐	☐	☐	☐	☐
2. 秋祭り	☐	☐	☐	☐	☐
3. 餅つきまつり	☐	☐	☐	☐	☐
4. 富田の里味噌づくり	☐	☐	☐	☐	☐
5. グラウンドゴルフ大会	☐	☐	☐	☐	☐
6. ふれあいハイキング	☐	☐	☐	☐	☐
7. キムチ漬け	☐	☐	☐	☐	☐
8. 餅つき大会	☐	☐	☐	☐	☐

一般の方向け(中高生は裏面へ)

問7 これからも富田に住み続けたいとお考えですか。また、その理由も教えてください。

- | | | |
|-----------|--------------------|-------------|
| 1. 住み続けたい | 2. わからない、どちらともいえない | 3. 住み続けたくない |
| (理由) | | |

問8 富田地区の「魅力」とは何だとお考えですか。(複数回答可)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 自然が豊かである | 2. 地域のまとまりがある |
| 3. 災害が少なく、気候がおだやか | 4. 美味しい食・飲食店が多い |
| 5. 車による交通の便が良い | 6. 歴史がある |
| 7. (その他) | |

問9 富田地区の「課題」とは何だとお考えですか。(複数回答可)

- | | |
|----------------------|------------|
| 1. 少子化・高齢化 | 2. 後継者の不足 |
| 3. 空き家・空き地（耕作放棄地）が多い | 4. 災害への対策 |
| 5. 公共交通機関の不足 | 6. 高齢被害が多い |
| 7. 女性の参画がすくない | 8. (その他) |

問10 富田地区が将来、どのようなまちになれば良いとお考えですか。(自由記述)

問11 富田地区の住民としてできることは何だとお考えですか。(自由記述)

問12 富田地区のまちづくりへの関心はございますか。

- | | | | |
|-------------|------------|-------------|------------|
| 1. とても関心がある | 2. 少し関心がある | 3. あまり関心がない | 4. 全く関心がない |
|-------------|------------|-------------|------------|

問13 富田地区のまちづくりについて、参加したいと思いますか。

- | | | | |
|--------------|----------------|---------------|------------|
| 1. 積極的に参加したい | 2. 機会があれば参加したい | 3. あまり参加したくない | 4. 参加したくない |
|--------------|----------------|---------------|------------|

問14 富田地区において、これから取り組むべきだと思う活動があれば、教えてください。

また、その理由も含めて教えてください。(自由記述)

問15 今後、協議会の活動にご参加をお願いできる方は、差し支えなければ、お名前と連絡先をご記入ください。

〔お名前〕 (お電話番号)

〔ご住所〕

裏面は「中高生向け」アンケートです。中高生の皆さんは、裏面アンケートにご回答ください。

主催：富田地区まちづくり協議会

問合せ先：石 芳博 会長 MAIL: iah_yoshihiro@fural.sakura.ne.jp

令和6年
富田地区中高生向けアンケート

QRコード
(中高生向け)



迅速な集計のため、

QRコードからの回答をお願いいたします。



問1 あなたの所属と学年を教えてください。

高校生の方は、通う高校が加西市内か市外かも、教えてください。

中学生(市内) [・1年 ・2年 ・3年] 中学生(市外) [・1年 ・2年 ・3年]
高校生(市内) [・1年 ・2年 ・3年] 高校生(市外) [・1年 ・2年 ・3年]

問2 あなたは富田地区が好きですか？

1. とても好き 2. すき 3. あまりすきではない 4. すきではない 5. どちらでもない

問3 富田の「魅力」は何ですか？ 理由もあれば教えてください。(自由記述)

問4 富田の「課題」は何ですか？ 理由もあれば教えてください。(自由記述)

問5 富田で行われる催し(イベント)などには参加していますか？

富田のイベント	知らない	知っている		
		ほとんど 参加している	たまに 参加している	あまり参加 していない
1. 富田夏祭り	☐	☐	☐	☐
2. 秋祭り	☐	☐	☐	☐
3. 節句まつり	☐	☐	☐	☐
4. 富田の里味噌づくり	☐	☐	☐	☐
5. グラウンドゴルフ大会	☐	☐	☐	☐
6. ふれあいハイキング	☐	☐	☐	☐
7. キムチ漬け	☐	☐	☐	☐
8. 餅つき大会	☐	☐	☐	☐

中高生向け(一般の方は裏面へ)

問6 あなたが大人になったとき、富田のためにできること(できそうなこと)、またはやりたいことはどんなことがありますか？今からであって何年か先であってもかまいません。(自由記述)

問7 あなたは将来、富田で暮らしたいと思いますか？

1. 絶対に暮らしたい 2. できれば暮らしたい
3. あまり暮らしたくない 4. 暮らしたくない(別の場所で暮らしたい)

問8 問7の質問について、それぞれの回答の理由を教えてください。

①【絶対に暮らしたい】と答えた人

1. 自分でもそう思うから
2. 両親が勤めるから
3. 家の事業を継がなくてはいけないから
4. 富田が好きだから
5. (その他)

②【できれば暮らしたい】と答えた人

1. 自分に合った仕事があれば帰ってきてほしい
2. 両親が「なるべく帰ってきて欲しい」と言うから
3. 親戚や友人が多く住んでいるから
4. まだ決められないが、なるべく富田に帰ってきてほしい
5. (その他)

③【あまり暮らしたくない】と答えた人

1. とりあえず都会で就職し、退職した後に考えたい
2. 両親が「どちらでもいいよ」と言っているから
3. できれば両親と離れて暮らしたいから
4. 富田にはあまり住みたいと思わないから
5. (その他)

④【暮らしたくない】と答えた人

1. 生誕地で生活したい
2. いい仕事があれば、富田以外のどこでも生活したい
3. 両親が「帰ってきてくなくてもいいよ」と言っているから
4. 富田で働きたくない・住みたくないから
5. (その他)

裏面は「一般向け」アンケートです。
一般の方は、裏面アンケートにご回答ください。

れいわ ねん とみたちくしょうがくせいむ
令和6年 富田地区小学生向けアンケート



とい 問1 あなたの学年を教えてください。
・4年 ・5年 ・6年

とい 問2 あなたは富田地区が好きですか？

1. とても好き 2. 好き 3. あまり好きではない 4. 好きではない 5. どちらでもない

とい 問3 富田の『魅力』は何ですか？ 理由もあれば教えてください。

とい 問4 富田の『課題』は何ですか？ 理由もあれば教えてください。

とい 問5 富田で行われるイベントなどには参加していますか？

とみた 富田のイベント	しらない	知っている			
		ほとんど 参加(さんか)している	たまに 参加(さんか)している	あまり参加(さんか) していない	まったく参加(さんか) していない
1. 富田夏祭(なつまつり)	☐	☐	☐	☐	☐
2. 秋祭(あきまつり)	☐	☐	☐	☐	☐
3. 節句(せく)まつり	☐	☐	☐	☐	☐
4. 富田の里味噌(さとみそ)づくり	☐	☐	☐	☐	☐
5. グラウンドゴルフ大会	☐	☐	☐	☐	☐
6. ふれあいハイキング	☐	☐	☐	☐	☐
7. キムチ漬(つけ)	☐	☐	☐	☐	☐
8. 餅(もち)つき大会	☐	☐	☐	☐	☐

とい 問6 あなたが大人(おとな)になったとき、富田のためにできること(できそうなこと)、またはやりたいことはどんなことがありますか？今(いま)からであっても何年(なんねん)か先(さき)であってもかまいません。

とい 問7 あなたは将来(しょうらい)、富田(とみた)で暮(く)らしたいと思(おも)いますか？

1. 絶対(ぜったい)に暮(く)らしたい 2. できれば暮(く)らしたい
3. あまり暮(く)らしたくない 4. 暮(く)らしたくない (別の場所(べつのはしよ)で暮(く)らしたい)

アンケートは以上(いじょう)です。ありがとうございました。

▲ 小学生向けアンケート

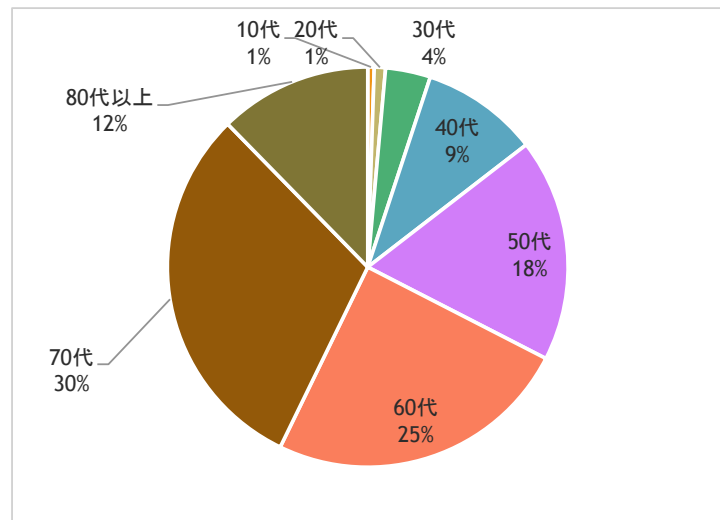
集計結果 富田地区全世帯アンケート【一般向け】

774 件回答(web 回答 116 件)

問 1

あなたの年齢を教えてください。

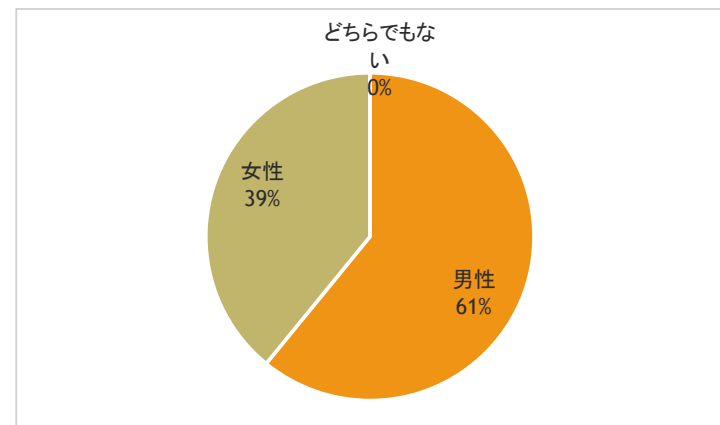
10 代	4
20 代	7
30 代	28
40 代	73
50 代	139
60 代	190
70 代	235
80 代以上	95



問 2

あなたの性別を教えてください。

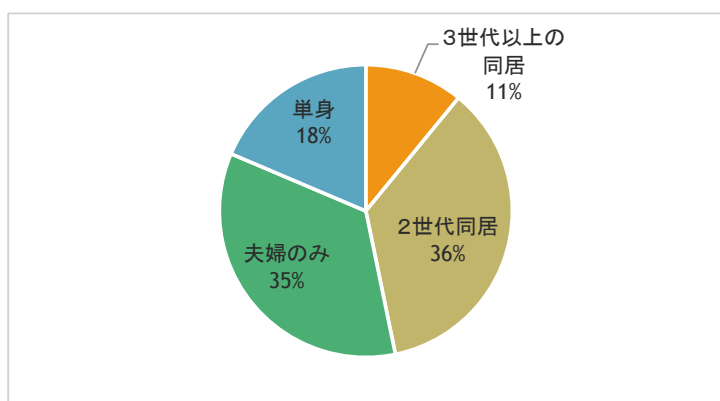
男性	464
女性	298
どちらでもない	0



問 3

ご家族の構成を教えてください。

3世代以上の同居	81
2世代同居	266
夫婦のみ	257
単身	138

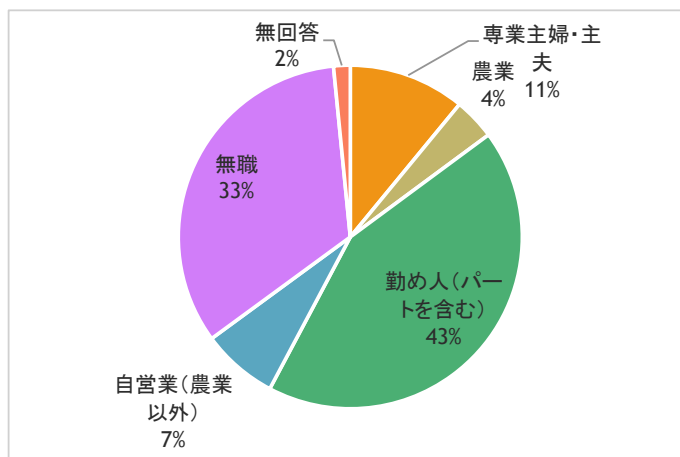


全戸配布の一般向けアンケートについては、回答者の7割近くが60歳以上でした。特に10代、20代の回答が極めて少なかったこともあり、若年世代の意向把握については不十分であったことは、考慮する必要があります。また重要な項目については、各年代での意向把握も必要なため、後半に年代別のクロス集計を行います。

問 4

あなたの現在のお仕事を教えてください。

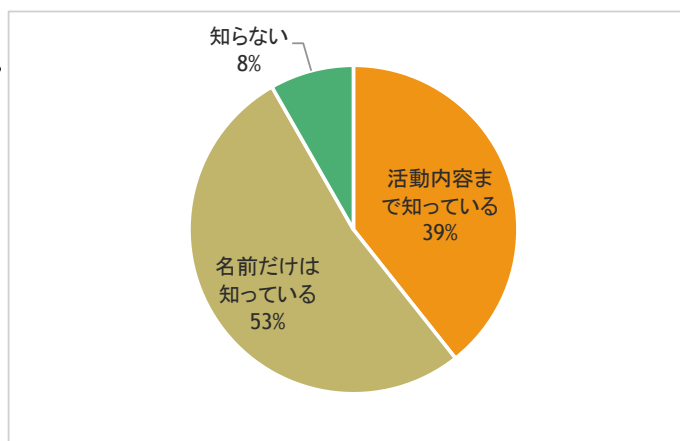
専業主婦・主夫	84
農業	30
勤め人(パートを含む)	329
自営業(農業以外)	55
無職	257
無回答	12



問 5

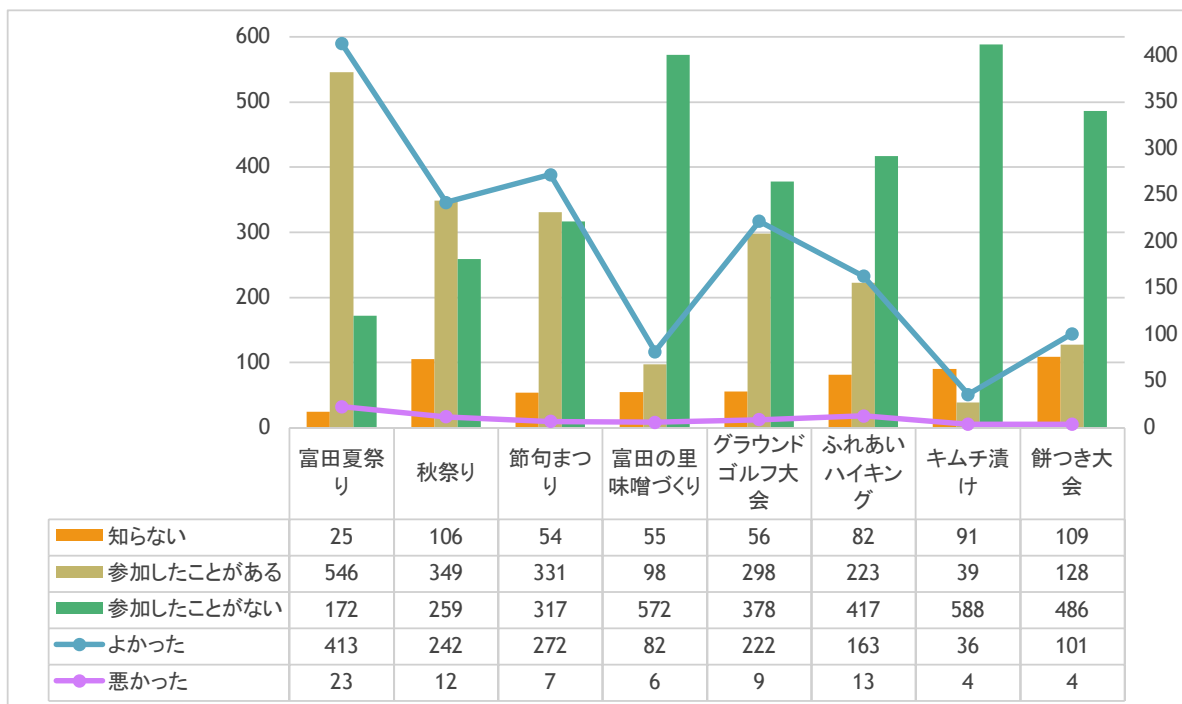
富田まちづくり協議会を知っていますか。

活動内容まで知っている	262
名前だけは知っている	349
知らない	55



問 6

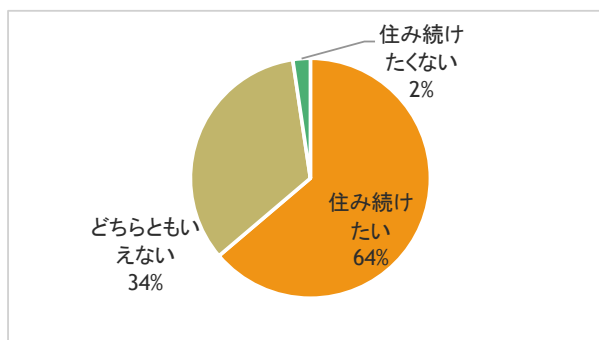
富田地区の活動として、知っている活動と運営や参加経験のある活動、また評価を教えてください。



問 7

これからも富田に住み続けたいとお考えですか。また、その理由も教えてください。

住み続けたい	460
どちらともいえない	244
住み続けたくない	17



① 「住み続けたい」理由

愛着・慣れ

- ・生まれ育った場所だから
- ・住み慣れているから
- ・長年住み続けているから（50年、40年、長い間…）
- ・愛着があるから
- ・住めば都のことわざ通り
- ・故郷だから

環境の良さ

- ・自然が豊か
- ・静かで空気がいい
- ・花や野菜を育てながらゆったり暮らしたい
- ・災害が少なく住みやすい
- ・平和で穏やかに暮らせる

生活の便利さ・満足度

- ・特に不便がない
- ・今の生活に満足している
- ・買い物や医療機関が近い（北条に近い）

- ・住みやすい、人が優しい

人間関係・地域のつながり

- ・近所付き合いが良好
- ・地域に密着した付き合いができるので安心
- ・地域、世代、文化の継承ができる
- ・人との縁がある

経済的・物理的な理由

- ・持ち家があるから
- ・家、田畑、山があるから
- ・先祖の土地を守りたい
- ・他に行くところがない
- ・引っ越すのが面倒
- ・経済的理由により今更他に移れない

子ども・将来のため

- ・子どもの環境がいい
- ・家族と一緒に住み続けたい

② 「どちらともいえない」理由

将来の不安

- ・高齢になったとき、運転免許返納後の生活が不安
- ・介護や医療面が心配
- ・健康状態による

生活の利便性の問題

- ・交通の便が悪い（特に高齢者の移動手段）
- ・公共交通機関が少ない
- ・周りにすぐ行けるお店がない

仕事・経済的な問題

- ・仕事があるかどうかわからない
- ・経済的な理由で他にやる余裕がない

地域の課題

- ・若者が地元に戻ってこない
- ・近隣同士のコミュニケーションが減ってきた
- ・自治会の役割が一部のみに偏り過ぎている

③ 「住み続けたくない」理由

生活の不便さ

- ・交通の便が悪い
- ・都心に移りたい
- ・他の地に住んだほうがいい可能性がある

- ・特に魅力がない

- ・非農家には住みづらい（役割が多すぎる）

人間関係・地域の雰囲気

- ・地区の付き合いが面倒
- ・トラブルを起こす人がいる（迷惑行為）

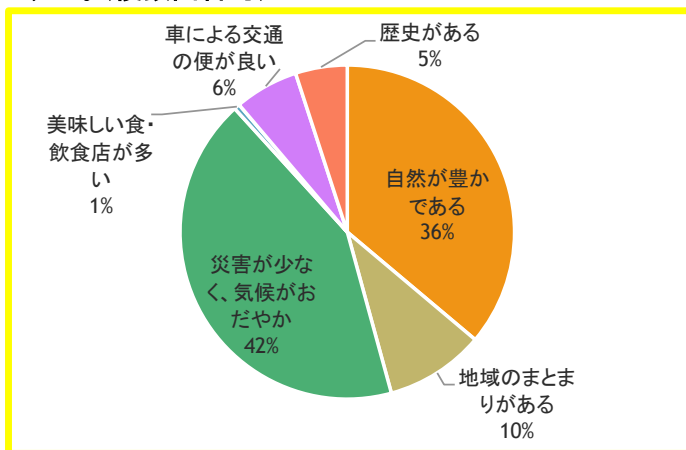
地域の課題

- ・過疎化が進み、新しい取り組みがない

問 8

富田地区の『 魅力 』とは何だとお考えですか。(複数回答可)

自然が豊かである	455
地域のまとまりがある	121
災害が少なく、気候がおだやか	535
美味しい食・飲食店が多い	7
車による交通の便が良い	78
歴史がある	63



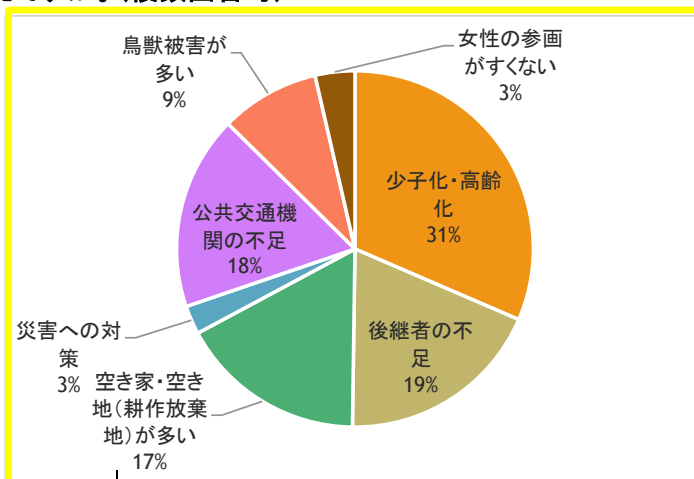
【その他意見】

- ・ 人間関係
- ・ 生まれたところ
- ・ 昔から住んでいるから
- ・ 生まれたところで生活するのが難がなくて良い
- ・ 生活の便がよく静か
- ・ 大きな川がないので水害の心配がない
- ・ 市の中心部への距離が近い
- ・ 北条市街中心(スーパー・駅・畑)

問 9

富田地区の『 課題 』とは何だとお考えですか。(複数回答可)

少子化・高齢化	630
後継者の不足	375
空き家・空き地(耕作放棄地)が多い	339
災害への対策	52
公共交通機関の不足	353
鳥獣被害が多い	180
女性の参画がすくない	72



人口減少と地域活性化の課題

- ・ 少子化や若者の町外流出が進んでいる
- ・ 後継者不足が深刻
- ・ 外国人移民の流入が多すぎる
- ・ 考えの古い人が多く、発展性がない

生活環境・インフラの問題

- ・ 公共交通機関(とみバスなど)の利便性に疑問がある
- ・ 医院、食料品店、飲食店が少ない
- ・ マンション・アパートがなく、親族以外が住みにくい
- ・ 空き家や耕作放棄地が増えている
- ・ 山林の荒廃や道路の修繕が必要

地域社会・コミュニティの課題

- ・ 昔の村気質が残っており、閉鎖的な雰囲気がある
- ・ 女性の参画が少なく、婦人会も存在しない
- ・ 地域の結びつきが強すぎて、新しい人が受け入れられにくい
- ・ 地区内でのトラブル(迷惑行為や大人のいじめ)がある

文化・伝統の維持と負担

- ・ 寺院や神社の維持管理の負担が大きい
- ・ 檀家制度の経済的な負担が重い

その他

- ・ 町全体が他地域と比べて遅れていると感じる
- ・ 土日はもっと自由であるべき

- ・ 各町の具体的な課題が分からない
- ・ 「チーム力が弱い」という意見もある

問 10

富田地区が将来、どのようなまちになれば良いとお考えですか。(自由記述)

若者・子育て世代の定住促進

- ・ 若者が戻ってくる、住みたく魅力ある町に
- ・ 子どもが増え、活気のある地域になってほしい
- ・ 住宅地やアパートを増やし、若い世代を呼び込みたい
- ・ 企業誘致や雇用の創出が必要
- ・ 学校(富田小学校)が存続できるようにする

交通の利便性向上

- ・ 公共交通機関(バスなど)の充実
- ・ 高齢者が車なしでも生活できる環境
- ・ 買い物や病院への移動手段の確保
- ・ 通学や移動の安全性向上(自転車専用道路や歩道整備)

買い物・医療・福祉の充実

- ・ スーパーやコンビニ、飲食店の誘致
- ・ 個人病院・高齢者施設の増設
- ・ 高齢者が安心して暮らせる福祉の充実
- ・ 高齢者が集える場所やサロンの設置

地域のつながりとコミュニティ

- ・ 近所付き合いが良く、助け合える環境
- ・ 地域行事の負担軽減と自主的な参加の促進
- ・ 過度なしがらみをなくし、自由に住みやすい町に

防災・安全対策

- ・ 台風・地震対策(マンホールトイレ設置など)
- ・ 夜道の街灯を増やし、防犯対策を強化
- ・ 子どもが安全に通学・遊べる環境整備
- ・ 鳥獣被害への対策

住環境と自然のバランス

- ・ 田舎の良さを生かしつつ、住みやすい町に
- ・ 自然を残しながら発展させる(公園や緑地の整備)
- ・ 空き家対策と移住者の受け入れ促進

合併・広域連携

- ・ 北条地区などとの連携を強め、利便性を向上
- ・ 町単位ではなく広域で発展を考える

その他

- ・ 特産品開発で町おこしを
- ・ 「住んで良かった」と思える町づくり
- ・ 住民全体が協力できる方向性を持つ

問 11

富田地区の住民としてできることは何だとお考えですか。(自由記述)

地域活動・行事への参加

- ・ 地域の行事やイベントに積極的に参加し、活性化に貢献する
- ・ できる範囲で参加することが大事、強制ではなく自由参加を重視
- ・ 参加することで知人を増やし、地域とのつながりを深める
- ・ 批判する前にまずは参加してみるべき

住み続けること・定住促進

- ・ 富田に永住し、地域に貢献することが重要
- ・ 若い世代が定着できる環境を作るために、通勤しやすい道路整備が必要
- ・ Uターン移住者に住みやすい環境を提供する
- ・ 地域の魅力を高め、若者が住みたくなる町づくりを進める

人との交流・助け合い

- ・ 地域住民同士のつながりを大切にし、助け合いの精神を持つ
- ・ 高齢者との交流を深め、支え合うことで地域の絆を強化する
- ・ 子どもたちの安全を見守り、積極的に声かけをしてコミュニケーションをとる
- ・ 近隣住民の助け合いを大事にし、相互援助の意識を持つ
- ・ 地域で困っている人がいれば助け合う、例えば草刈りや環境整備の協力

環境整備・美化活動

- ・地域の環境保全に努め、草刈りや清掃活動を積極的に行う
- ・自然環境を守り、開発よりも現状の緑を維持することを大切にする
- ・地域美化を通じて、住みやすい環境を作る

地域の発展・活性化

- ・地域の発展のために積極的に発言し、行動する
- ・まちづくり協議会や地域イベントを活性化し、参加者を増やす
- ・農業や地域資源を活かし、地域ブランドを作り上げる
- ・新しい企画やアイデアを提案し、地域をさらに活性化させる

若者・子育て世代の支援

- ・少子化に対応するため、子育て世代を支援する活動が必要
- ・若い家族が地域に定住できるよう、働きやすい環境を整える

- ・次世代を育てるための支援を惜しまない
- ・少子化対策として、子どもたちの意見を尊重し、地域全体で支える

防犯・防災・安全対策

- ・防犯や防災の取り組みを強化し、安全な地域づくりを進める
- ・地域内での見守り活動を強化し、犯罪や事故を防止する
- ・防災訓練を定期的に行い、災害時に備える

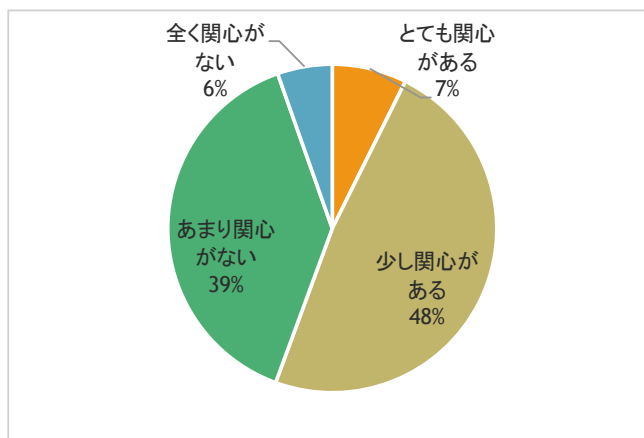
行政との関係・制度の見直し

- ・行政の手続きや制度を簡素化し、住民が参加しやすい仕組みを作る
- ・地域全体での規則やルールを見直し、より柔軟で協力的な地域づくりを進める
- ・空き家の再利用など、地域資源を活かした取り組みを推進する

問 12

富田地区のまちづくりへの関心はございますか。

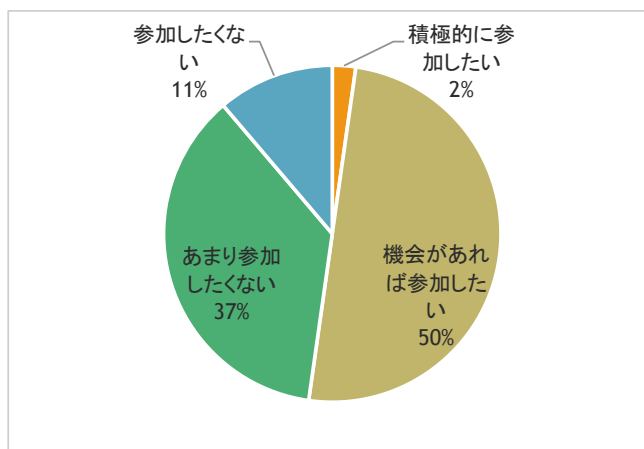
とても関心がある	53
少し関心がある	349
あまり関心がない	282
全く関心がない	39



問 13

富田地区のまちづくりについて、参加したいと思いますか。

積極的に参加したい	16
機会があれば参加したい	357
あまり参加したくない	261
参加したくない	80



問 14

富田地区において、これから取組むべきだと思う活動があれば、教えてください。
また、その理由も合わせて教えて下さい。(自由記述)

地域活動・イベントの企画と参加

- ・若者層や女性層を中心とした防災イベントを企画し、地域の活性化を図る
- ・他の地区活動に参加し、評価の良い活動を富田地区に取り入れる
- ・世代間で歩み寄り、子どもたちのために交流を深める
- ・子どもと大人と一緒に参加できる活動やスポーツイベントを企画する
- ・地域の祭りやイベントは継続しつつ、少子高齢化に合わせた見直しも必要
- ・老若男女が参加できるイベントを増やし、地域を盛り上げる

高齢化・少子化対策

- ・高齢者向けの催し物や集まりの場を提供し、高齢者の交流の場を増やす
- ・高齢者の活動参加の難しさに配慮したイベントや活動の取り組みが求められる
- ・少子高齢化に対応するため、若者が住み続けられる環境を整える
- ・高齢者が安心して暮らせる場所、例えば放課後の学習場所や安全に遊べる場所を提供する
- ・高齢化が進む中での適切な支援策を考え、高齢者の引きこもり防止や支援を強化する

地域の活性化と住みやすい環境づくり

- ・空き家の活用や耕作放棄地に太陽光発電を設置し、再生可能エネルギーを供給する
- ・空き家や空地の活用、地域資源を活かした活動を進め、地域の経済を活性化する
- ・Uターン移住者に対して、住みやすい環境を提供し、親切丁寧に地域の魅力を紹介する
- ・地域の住民税や水道料金の軽減、保育の無償化を進め、住みやすい環境を作る

若者・子育て世代の支援

- ・若者たちのモチベーションを高めるイベントやSHOPオープンを支援する
- ・働く場所を作り、地元の若者が地元に残りやすくなるようにする
- ・子どもたちの安全を見守る活動を強化し、見守り隊の存在感を再確認する

地域の施設やコミュニケーションの場の整備

- ・地域住民が集まりやすい施設を作り、コミュニケーションの場を提供する
- ・地域の情報共有を進め、活動を活性化し、助け合いの精神を広める
- ・公共交通の利用を促進し、高齢者が移動しやすい環境を作る
- ・高齢者向けのバス以外にも移動店舗や宅配サービスを導入する

地域課題の解決

- ・少子化や高齢化による人口減少を防ぐための対策を講じ、地域全体の魅力を高める
- ・地域事業会社を設立し、資源を有効活用してエネルギー供給や地域発展を進める
- ・地域全体での活動を見直し、効率的かつ柔軟に地域を活性化する方法を模索する

地域コミュニティの強化

- ・地元の古民家を活用し、地域の文化や歴史を守りつつ地域活動を盛り上げる
- ・地域の歴史や文化に親しむ機会を増やし、住民同士のつながりを深める

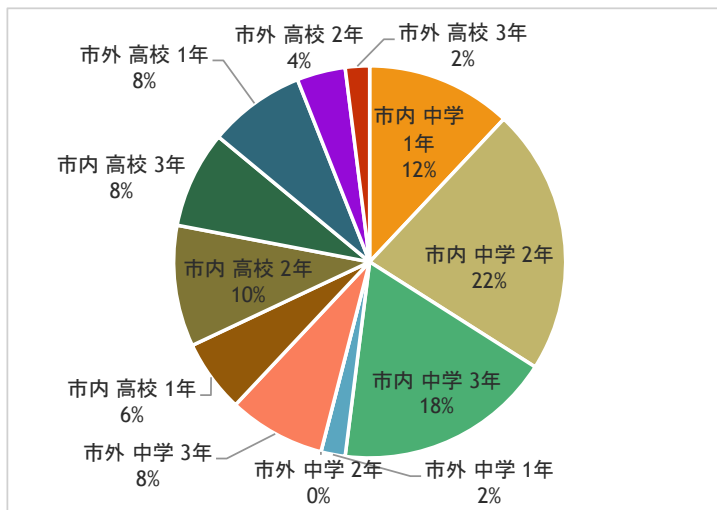
集計結果 富田地区全世帯アンケート【中高生向け】

55 件回答(web 回答 25 件)

問 1

あなたの所属と学年教えてください。

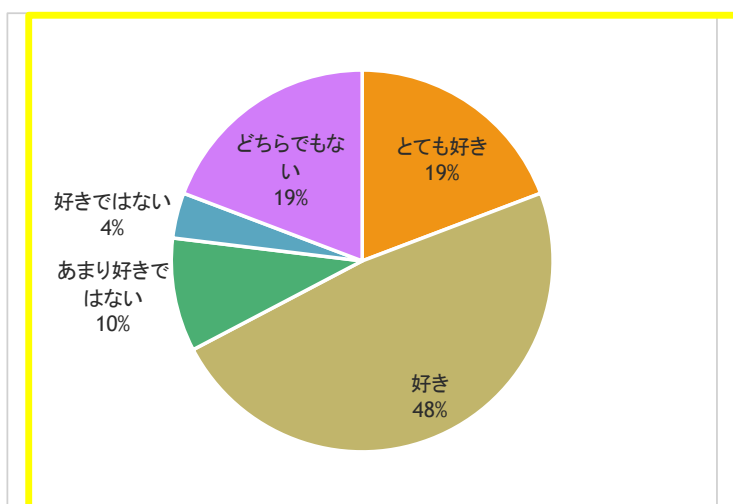
市内 中学 1 年	6
市内 中学 2 年	11
市内 中学 3 年	9
市外 中学 1 年	1
市外 中学 2 年	0
市外 中学 3 年	4
市内 高校 1 年	3
市内 高校 2 年	5
市内 高校 3 年	4
市外 高校 1 年	4
市外 高校 2 年	2
市外 高校 3 年	1



問 2

あなたは富田地区が好きですか？

とても好き	10
好き	25
あまり好きではない	5
好きではない	2
どちらでもない	10



問 3

富田の『魅力』は何ですか？理由もあれば教えてください。(自由記述)

- ・自然が多く、自然豊かな場所で過ごすことができる
- ・自然に囲まれて、空気がきれいで心が落ち着く
- ・災害が少なく、暮らしやすい環境が整っている
- ・自然が豊かで、触れることができる場所が多い
- ・大自然と優しい地域の方々が調和した環境が魅力的
- ・池があり、釣りを楽しむことができる
- ・自然が豊かで、日々の生活に安らぎを感じる
- ・年齢問わず地域の住民同士が仲良く交流できる機会が豊富

- ・あいさつが活発で、地域のつながりが強い
- ・まちの人々が優しく、住民同士が助け合って暮らしている
- ・自然の中での生活が心地よく、空気がおいしい
- ・買い物施設(イオンやハローズ)が比較的近く、便利な生活環境
- ・友達が作りやすく、地域内での新しい出会いが促進されている

問 4

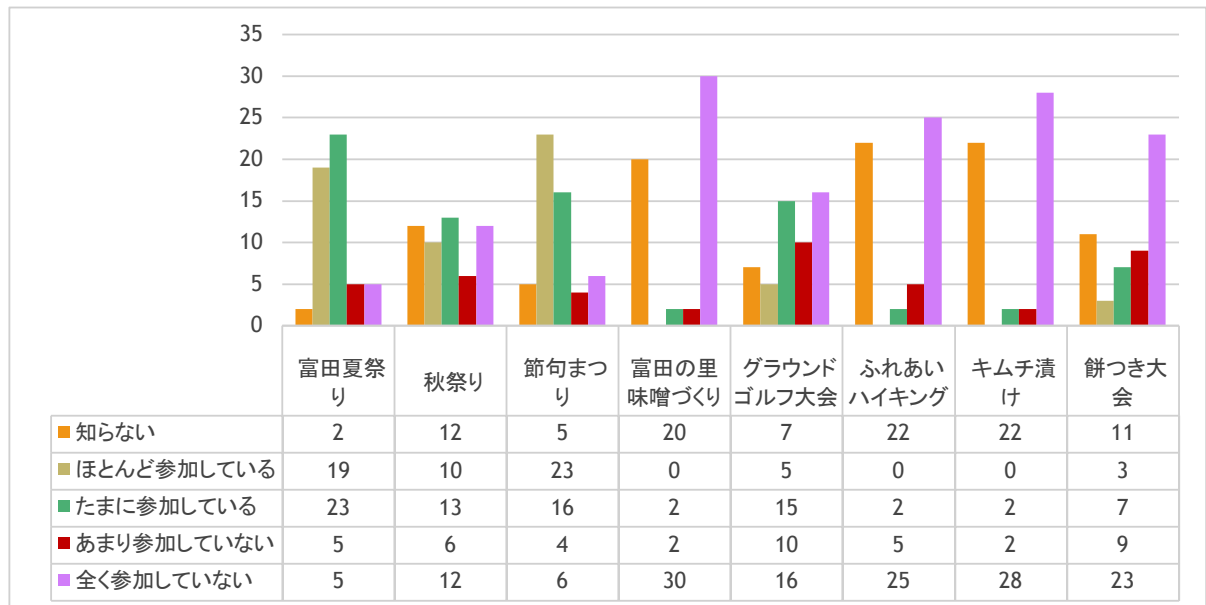
富田の『課題』は何ですか？理由もあれば教えてください。(自由記述)

- ・遊べる場所が少ない
- ・スーパーや店舗が少なく、交通が不便
- ・北条鉄道が通っていないため、交通の未発達
- ・街灯が少なく、夜間の危険性がある
- ・飲食店を含め、店舗が少ない
- ・通学や買い物がしづらい状況
- ・道路整備が不十分
- ・子供の数が減少しており、特に若い世代が少ない
- ・小学生の数が減少し、地域の活力に影響が出ている
- ・自販機の数少なく、利便性が低い
- ・交通便が悪く、外出が不便
- ・少子高齢化が進み、子供が減少している
- ・夜が暗く、外灯の設置が必要

- ・買い物が不便で、商業施設の充実が求められる
- ・少子化が進行し、子どもの数が減っている
- ・地域のイベントが少なく、住民の交流の場が限られている
- ・高齢者が多く、地域の活性化に向けた対策が必要
- ・池の水質管理が課題
- ・映画館などの娯楽施設が不足している
- ・交通の便が悪く、地域間移動が不便
- ・人口減少に伴い、空き家が増えている
- ・夜間の外灯が足りず、安全面での改善が必要
- ・地域の活性化のために店を増やしたり、公園に遊具を設置するなどの改善策が求められる
- ・交通の便が限られており、アクセス向上が課題

問 5

富田で行われる催し(イベント)などには参加していますか？



問 6

あなたが大人になったとき、富田のためにできること(できそうなこと)、またはやりたいことはどんなことがありますか？今からであっても何年か先であってもかまいません。(自由記述)

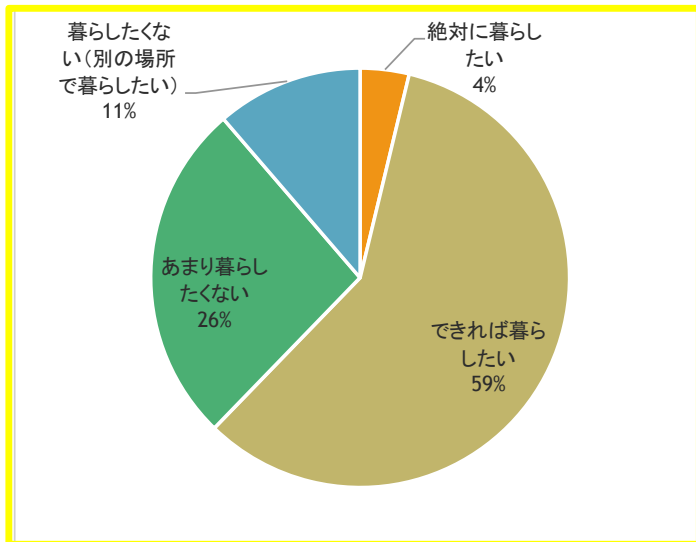
- ・ゴミ拾いに参加する
- ・地域のイベントや行事に積極的に参加する
- ・地域の行事に参加する
- ・興味がないため参加しない
- ・富田の良いところを紹介し、子どもたちを増やす
- ・昔の考え方を変える
- ・美味しいスイーツのお店を開き、地域の人々を笑顔にする
- ・遠くに行ってもまた戻って住むことを考える
- ・草刈りに参加する

- ・新しく移住した人と、長く住んでいる人が仲良く暮らせるまちづくりを目指す
- ・地域活動について特に考えていない
- ・イベントのお手伝いをする
- ・何かしら活動に参加する予定
- ・地域の行事をさらに活発化させる
- ・草刈りに積極的に参加する
- ・若者に人気の特産品や富田のPRを積極的に発信する

問 7

あなたは将来、富田で暮らしたいと思いますか？

絶対に暮らしたい	2
できれば暮らしたい	31
あまり暮らしたくない	14
暮らしたくない(別の場所で暮らしたい)	6



問 8

前項の質問について、それぞれの回答の理由を教えてください。

【絶対に暮らしたい】と答えた人

自分でもそう思うから	2
両親が勧めるから	0
家の事業を継がなくてはいけないから	0
富田が好きだから	0

【できれば暮らしたい】と答えた人

自分に合った仕事があれば帰ってきてもいい	8
両親が「なるべく帰ってきて欲しい」と言うから	0
親戚や友人が多く住んでいるから	4
まだ決められないが、なるべく富田に帰ってきたい	17

【その他意見】

- ・就職先が近ければ

【あまり暮らしたくない】と答えた人

とりあえず都会で就職し、退職した後に考えたい	6
両親が「どちらでもいいよ」と言っているから	2
できれば両親と離れて暮らしたいから	1
富田にはあまり住みたいとは思わないから	3

【その他意見】

- ・街や都会に行ってみたいからだけれど、いい仕事とかがあったら富田で暮らしたい

【暮らしたくない】と答えた人

生涯都会で生活したい	3
いい仕事があれば、富田以外のどこでも生活したい	2
両親が「帰ってこなくてもいいよ」と言っているから	0
富田で働きたくない・住みたくないから	1

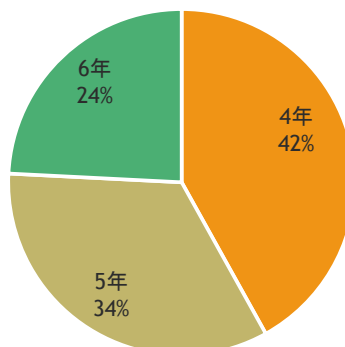
集計結果 富田地区全世帯アンケート【小学生向け】

62 件回答

問 1

あなたの学年を教えてください。

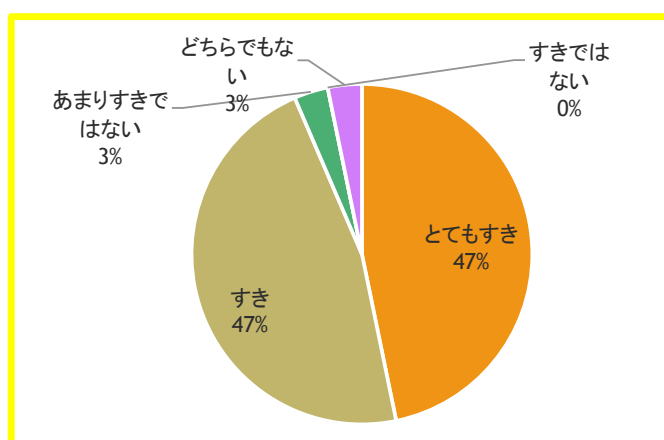
4 年	26
5 年	21
6 年	15



問 2

あなたは富田地区が好きですか？

とても好き	29
好き	29
あまり好きではない	2
好きではない	0
どちらでもない	2



問 3

富田の『魅力(みりょく)』は何ですか？

理由もあれば教えてください。(自由に書いてください)

自然がいっぱい

- ・たくさん木や花があって、空気がきれい！
- ・生き物もたくさんいるよ。
- ・山や田んぼが広がっていて、静かで気持ちいい。

みんなが優しい

- ・知らない人でも「おはよう！」とあいさつしてくれる。
- ・「おかえり」と声をかけてもらえる。
- ・みんなが親切で、助け合って暮らしている。

仲が良くて楽しい

- ・友だちがたくさんいて、みんな仲良し！
- ・平和で楽しく過ごせる。
- ・みんながフレンドリーで、一緒に遊ぶのが楽しい。

お祭りや行事が楽しい

- ・節句まつりや夏祭りがあって、すごく楽しい！
- ・地域の人々でお祝いするのがうれしい。

安全で安心できる

- ・車があまり通らなくて安全。
- ・登下校もみんなですっかりできるから安心。

地域の人々が頑張っている

- ・ボランティア活動をしている人が多い。
- ・地域の人々で協力している。

便利なのところもある

- ・富田バスがあって移動しやすい。
- ・コンビニもあって便利！

もっとあったらいいな

- ・遊具が増えたらいいな！
- ・公園がもっといろんなところにあったら、みんなで遊べるのになあ。

問 4

富田の『課題(かだい)』は何ですか？

理由もあれば教えてください。(自由に書いてください)

お店や施設が少ない

- ・コンビニやお店をもっと増やしてほしい。
- ・ローソンしかないので、もう少しお店がほしい。
- ・子どもが楽しめる施設を作してほしい。

遊ぶ場所が少ない

- ・公園を増やしてほしい。
- ・畑町のふれあい広場に遊具やバスケットゴールを作してほしい。
- ・野球場を作してほしい。

交通の問題

- ・信号が短いので、もう少し長くしてほしい。
- ・横断歩道が少ないので増やしてほしい。
- ・道が細いので、もう少し広くしてほしい。
- ・道路がデコボコしている。

ゴミや環境の問題

- ・ゴミを減らしたい。
- ・空気をもっと清潔にしたい。
- ・草むらにポイ捨てされているゴミをなくしたい。
- ・教室にあるゴミをなくしたい。

安全の問題

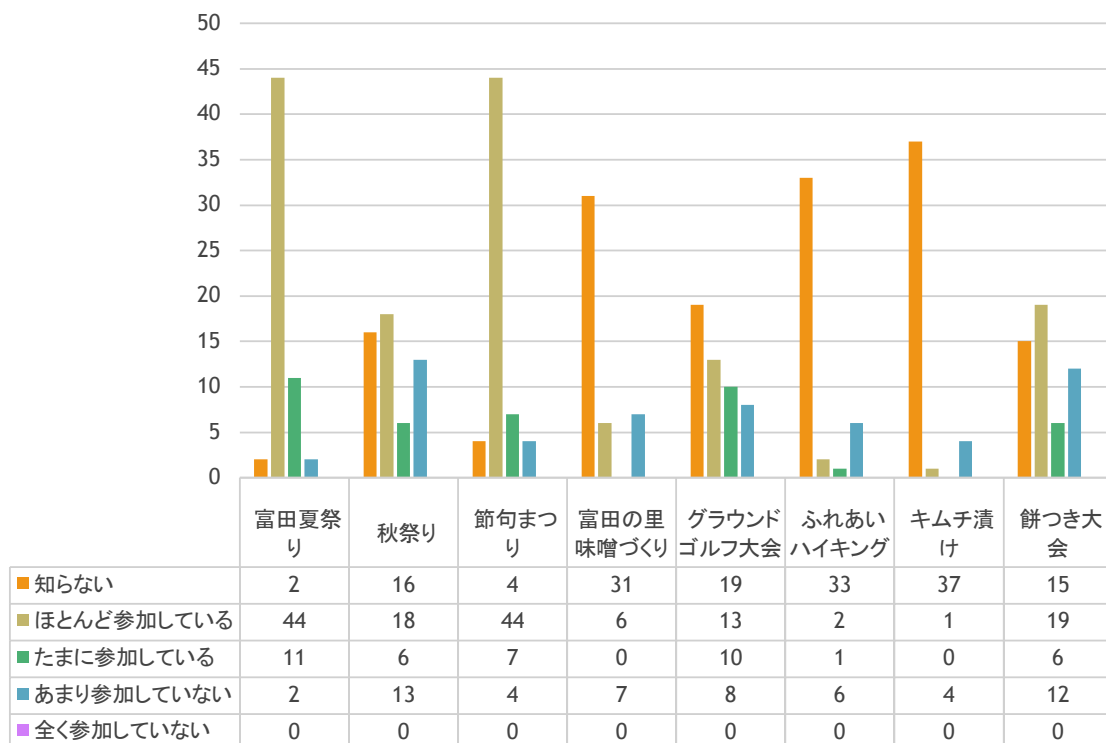
- ・怪しい人がいないようにしたい。
- ・みんなで安全を守りたい。

その他

- ・学校に送ってくれるバスがあったらいいな。
- ・教室であばれないようにしてほしい。
- ・イベントを増やしてほしい。
- ・特にない、分からない。
- ・挨拶をしない人もいるので、もっと挨拶をしたほうがいい。
- ・朝の駆け足を頑張る。

問 5

富田で行われるイベントなどには参加していますか？



問 6

あなたが大人になったとき、富田のためにできること（できそうなこと）、またはやりたいことはどんなことがありますか？今からであっても何年か先であってもかまいません。（自由に書いてください）

地域の人と仲良くする

- ・地域の人にやさしくする。
- ・「ありがとう」を伝える。
- ・しっかり挨拶をする。
- ・みんなと仲良くする。

イベントを増やす・参加する

- ・みんなが楽しめるイベントを企画する。
- ・富田まつりのよさこいで踊りたい。
- ・餅つき大会に参加したい。
- ・学校を使ってお祭りを開く。
- ・できればイベントを開きたい。
- ・いろいろな取り組みを増やしたい。

富田をもっと住みやすくする

- ・富田地区に住んでいる人を増やす。
- ・お店を増やす。
- ・富田地区の中に楽しい公園を作る。
- ・観光地を作る。

自然や環境を守る

- ・自然を守る。
- ・生き物をたくさん増やす。
- ・草むしりをする。

地域活動に参加する

- ・ボランティア活動をしたい。
- ・地域の行事に参加する。
- ・募金をする。

子どもたちのためにできること

- ・小学生にいろいろなことをしてあげたい。
- ・野球教室を開きたい。
- ・運動教室を開く。
- ・音楽教室を開く。

富田に関わり続ける

- ・できるだけ富田に帰ってくる！
- ・たまに里帰りする。
- ・違うところに住みたいけど、富田に帰ってくる！

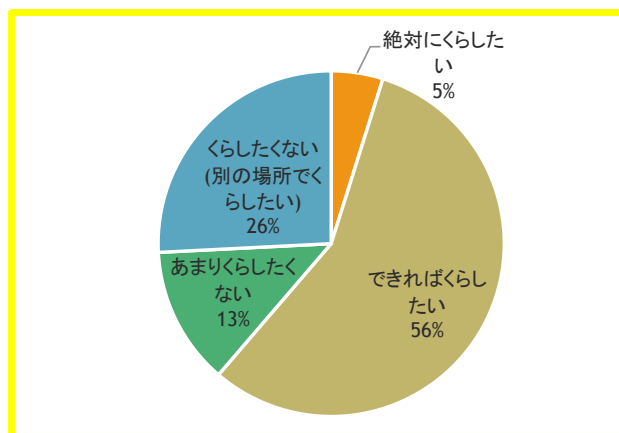
その他

- ・不審な人やいけない人を少なくしたい。
- ・特にない、分からない人もいる。

問 7

あなたは将来(しょうらい)、富田でくらしたいと思いますか？

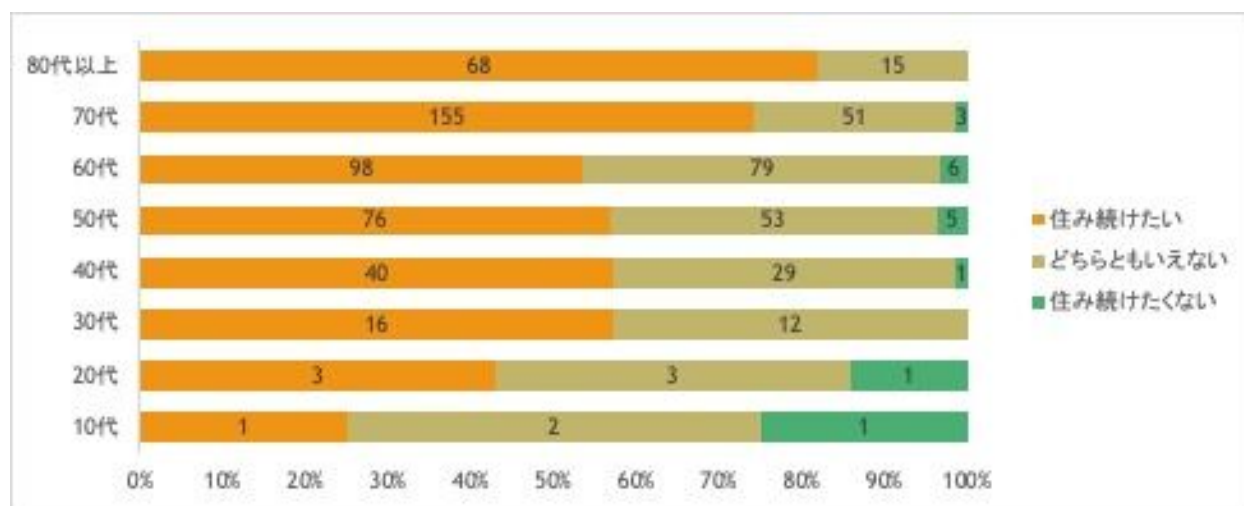
絶対にくらしたい	3
できればくらしたい	35
あまりくらしたくない	8
くらしたくない(別の場所 でくらしたい)	16



クロス集計

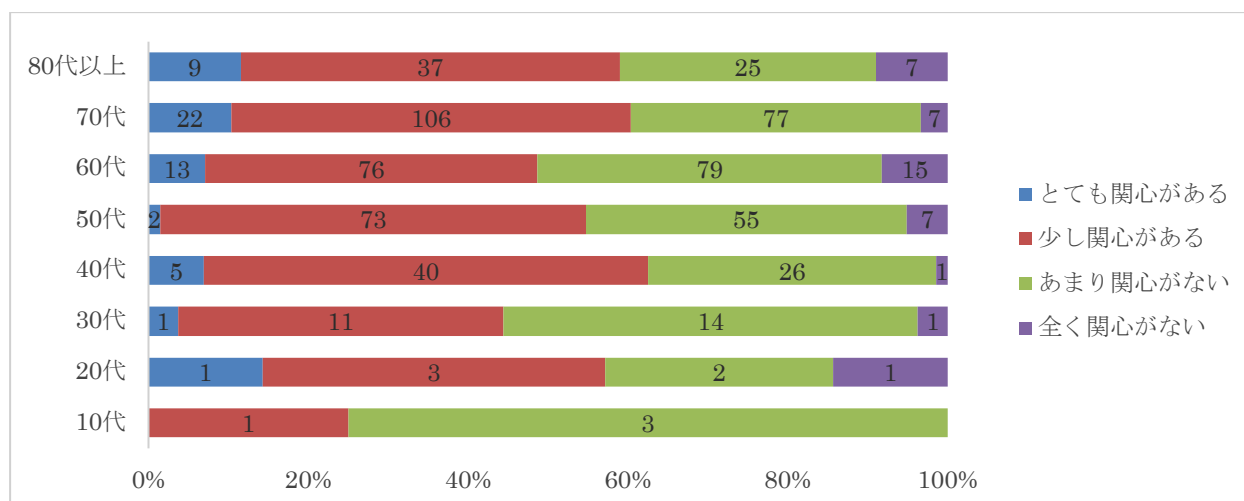
まちづくり計画の実現に向け、これからの居留意向と、まちづくりへの参加意向上を確認することが必要と考え、より詳細な結果分析として、年代別、性別のクロス集計を行いました。結果を以下に示します。

①「問1 あなたの年齢を教えてください」×「問7 これからも富田に住み続けたいとお考えですか」

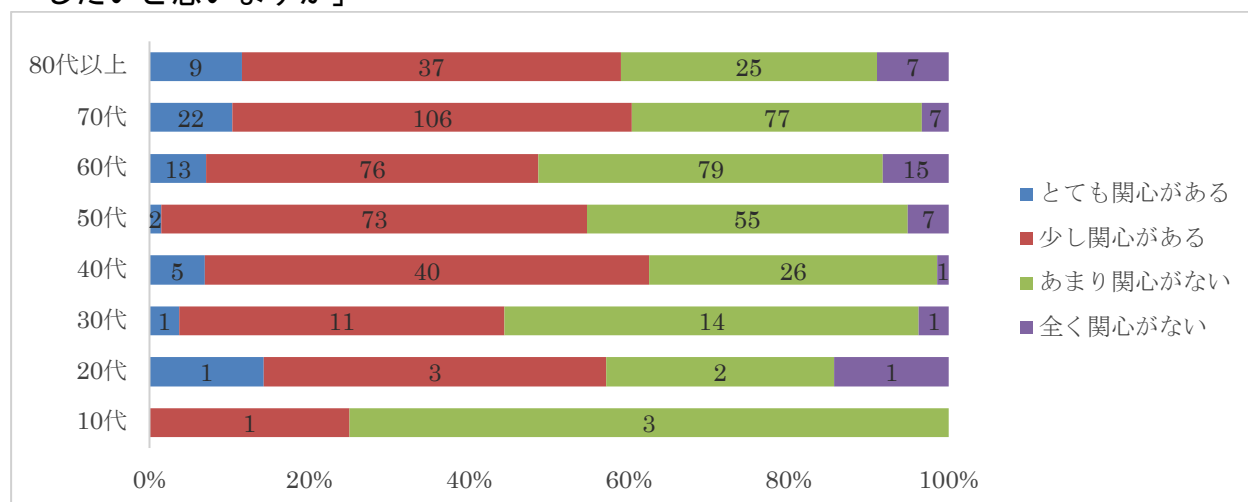


これからの居留意向（富田に住み続けたい意向）を年代別に分析した結果、「住み続けたい」との回答は30代～60代が概ね55%であり、70代以降になると75～80%に上がる。そして「住み続けたくない」のは30代以上では、ごく少数にとどまることが確認できました。また、回答数は少ないものの、10～20代の「住み続けたい」意向は、上の世代に比べて低いことが分かります。これは30代以降で富田に定住すると、その後は「住み続けたい」と考える可能性が高くなることを示しています。大学や就職等で、富田を離れた住民でも、その後の富田への移住後には定着率が高まる可能性も示しています。

②「問1 あなたの年齢を教えてください」×「問12 富田のまちづくりへの関心はございますか」

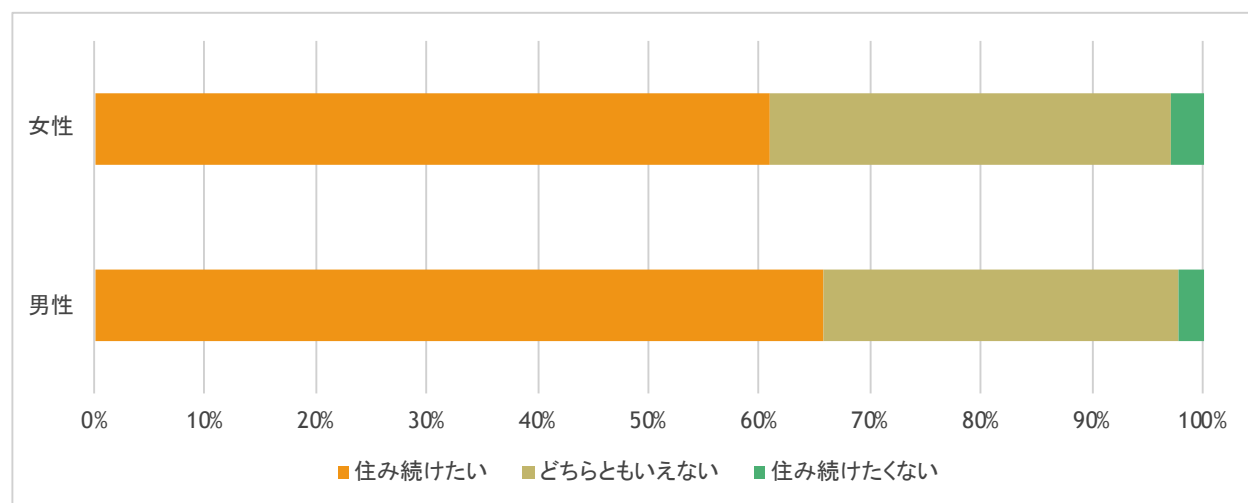


③「問1 あなたの年齢を教えてください」×「問13 富田のまちづくりについて、参加したいと思いますか」



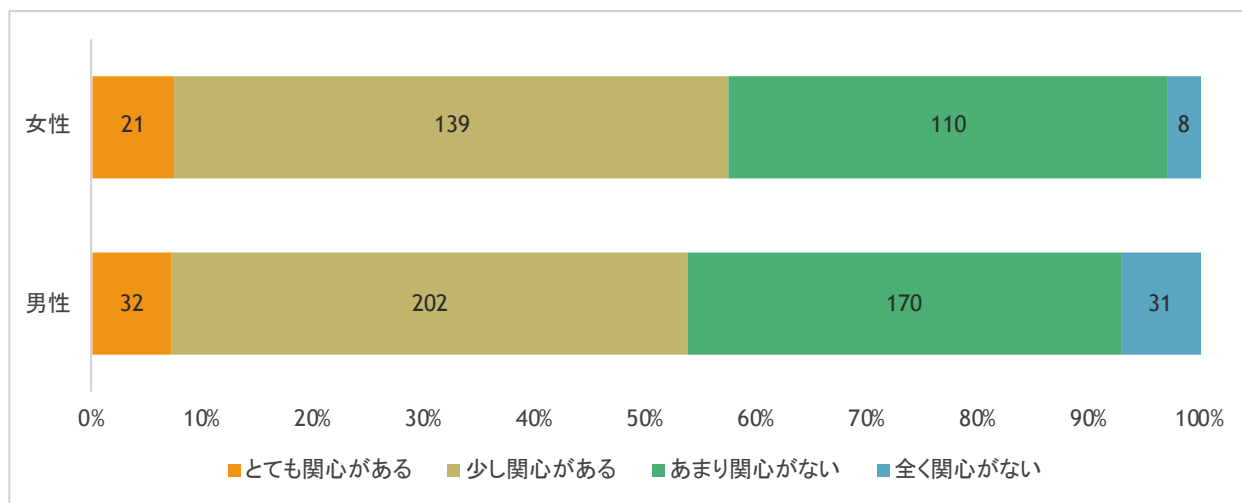
「まちづくりへの関心」と「参加意欲」について、年代別に集計したところ、20代以降では、両設問に対して「とても関心がある」「少し関心がある」を合計すると、概ね50～60%であり、比較的高い関心を持たれていることが分かりました。特に、20代と40代の「関心」「参加意欲」は、70代以降の高齢世代に劣らず、高い値を示しています。回答数が少ないものの、20代の関心の高さについては留意すべきで、上記の居住意向とも合わせ、この世代への対応の必要性があると考えられます。

④「問2 あなたの性別を教えてください」×「問7 これからも富田に住み続けたいとお考えですか」

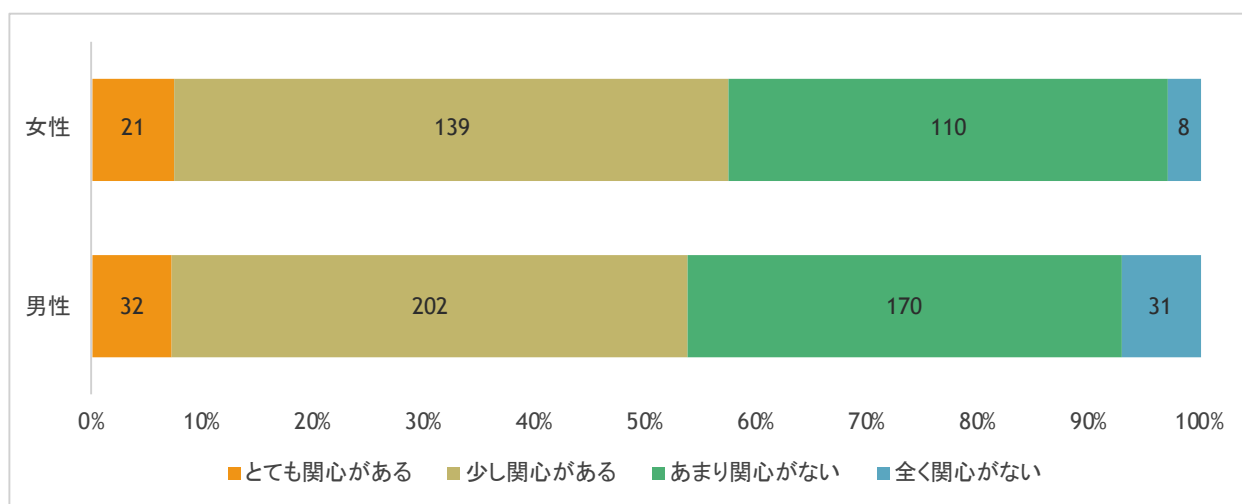


これからの居住意向（富田に住み続けたい意向）を性別に分析した結果、「住み続けたい」との回答は女性が61%程度、男性が65%程度で、その差は数%で大きくありませんでしたが、男性の方が、比較的高い値を示しています。

⑤「問2 あなたの性別を教えてください」×「問12 富田のまちづくりへの関心はございますか」



⑥「問2 あなたの性別を教えてください」×「問13 富田のまちづくりについて、参加したいと思いますか」



「まちづくりへの関心」と「参加意欲」について、性別に集計したところ、居住意欲とは逆に、「とても関心がある」「少し関心がある」の合計は、女性で概ね60%、男性は50数%でした。女性の方が、まちづくりについて比較的高い関心を持たれていることが分かりました。

ii. まちづくり計画策定委員会での検討

計画策定は、2023（令和5）年度から始まりました。当初、各町や団体から推薦された方々を中心に検討が進み、計画の素案が作成されました。その後、2024（令和6）年度からは、富田まちづくり協議会にまちづくり計画策定委員会が設けられ、ここが主体となり、検討が進められました。各回の検討はワークショップ（参加者の主体性を尊重した話し合いの手法）によって実施され、その成果を積み上げて計画が取りまとめられました。以下に、その内容を示します。

① 第1回プログラム

日時：令和5年8月19日（土）

参加者：約24人

テーマ：富田の魅力と課題を考える「井戸端会議」

ワークショップの概要：

富田地区の魅力や課題について、地域住民が意見を交わすワークショップを開催しました。まず、まちづくりの進め方についてスライドショー形式で他地区の事例を確認しました。その後、富田の「自慢・よいところ」と「心配なところ・困ったこと」について話し合いました。参加者はグループに分かれ、自由に意見を出し合いながら、地域の課題や今後のまちづくりについて考えました。最後に、全体で話し合いの内容を共有し、今後の取り組みについてまとめました。



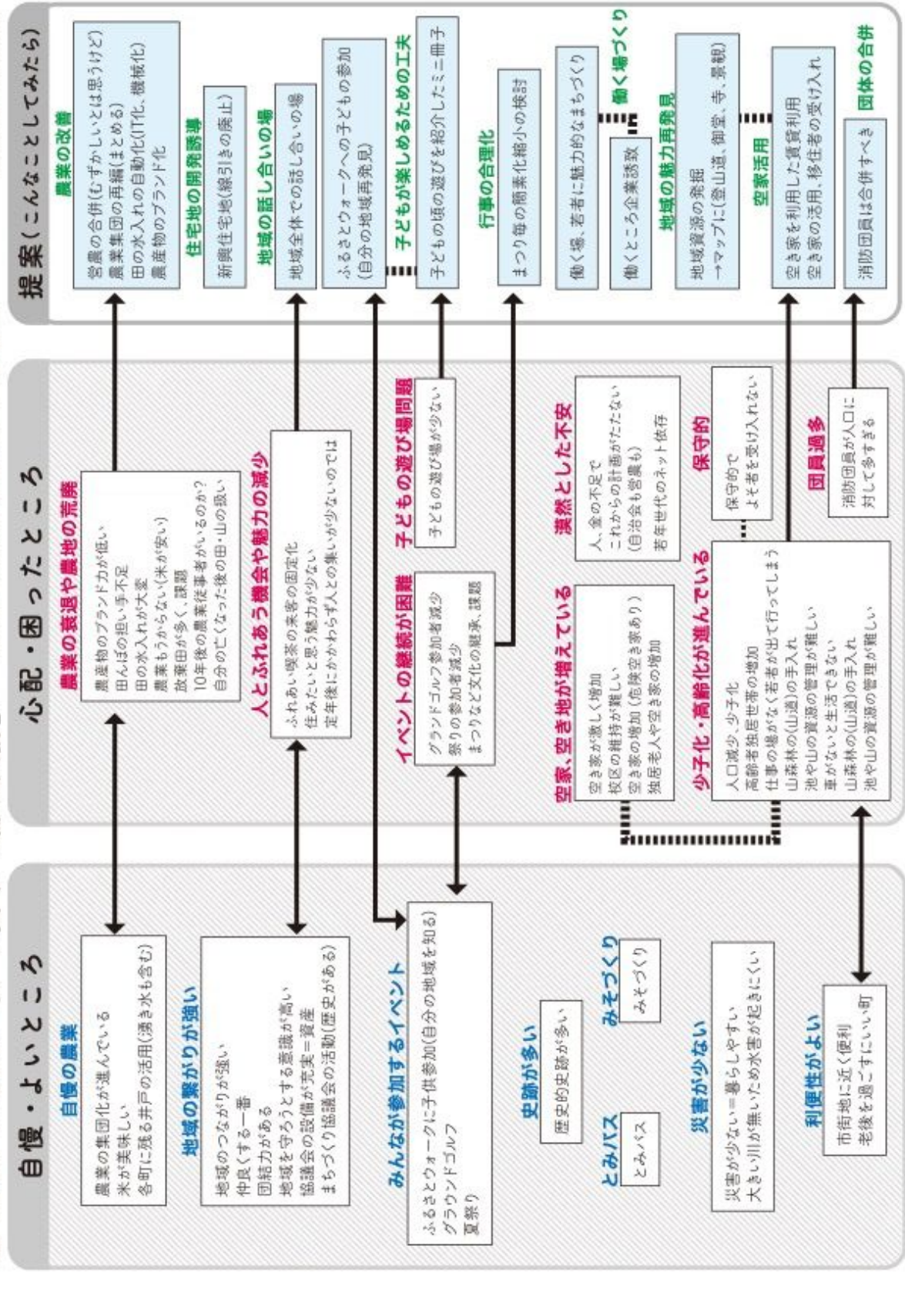
▲ ワークショップの様子



▲ ワークショップまとめ

富田のこれから「井戸端会議」～富田の魅力と課題を考える～

R5.8.19 WSまとめ



▲ 第1回 富田の魅力と課題を考える まとめ

② 第2回プログラム

日時：令和5年9月30日（土）

参加者：約20人

テーマ：富田の未来像を描く

ワークショップの概要：

前回の活動を振り返った後、本日の進行方法を確認し、参加者は、前回の成果から導き出されたまちづくりに関するテーマを示したカードをもとに、各テーマについて富田地区の理想的な将来像について意見を出し合いました。付箋を用いて各自の意見を確認・追加しながら、意見の整理と発表を行い、今後のまちづくりの望ましい姿や方向性を取りまとめました。



▲ ワークショップの様子



▲ 模造紙まとめ

富田のこれから「井戸端会議」～富田の魅力と課題を考える～

R5.9.30 WSまとめ

A

テーマ	農 業	老後高齢者	人 口 減 少	空 き 家	働 く 場
ご意見	■玉野地区はうまくいっている→会社として ■農業法人株式会社に向かう ■法人にしても世帯数が少ないと難しい ■周囲を巻き込み形で経営規模大きくしないと ■周りの集落と一緒にやっていると効率的 ■いくつかの集落でまとまれば利益あがる⇨タイミングや順番が難しい ■平日も農作業できれば終わる⇨機械化進めれば短期間で終わる ■カンリ機1,000万、40軒の負担では大変 ■整備できない所は畑と家をセットで売る仕組みがないと難しい ■今は¥2,000/1h ¥1,000/1hで雑草ひきにきてくれる ■営農にあずけると出してくれる⇨営農の担い手が少なくなる ■専任の人を雇って年中できるようにする必要がある ■米だけでなく多品種で経営しないといけない	■何歳から高齢者? ■どう生きる?→人によりさまざま ■(世帯すべて)80歳で役免除にした所も ■独居が増えている⇨民生さんが見てくれる? ■ケアは充実している ■喫茶店「おうむ」は、集いの場としてよかった! ■同じ年代だと話が合う ■話し相手がいるのがよい ■世話する人がいれば…→誰がする?→「地域」でなくNPO企業などで対応	■ATMなくなる ■生活の利便性が失われている ■未婚率が上昇している	■社宅の建設 ■空き家の社宅利用 ■空き家バンクの利用 ■学校、病院の先生の充実	■働く場と働きたい人のマッチング ■立地規則緩和で企業誘致
望ましい姿	☐ 複数の集落があつまり企業化、法人化を進め、多角経営で黒字化できる農業 ☐ 農業の企業化を地域の利便性につなげる	☐ 同世代で話し相手をつくれる歩いていける集いの場づくり (ただしリーダーが必要!)		☐ 利用できる空き家の流通 ☐ 会社誘致による社宅利用	

富田のこれから「井戸端会議」～富田の魅力と課題を考える～

R5.9.30 WSまとめ

B

テーマ	農 業 田畑耕作地	人口減少・老後高齢者 働く場・空き家	イベント行事 地域のつながり
ご意見	■水入れが大変、パイプを通してICTで管理 ■担い手不足→営農の合併 ■草刈りの機械化、無人化を進めたい ■資金不足 ■買い手の開拓 ■補助金が必要 ■お米のブランド化	■働く場所の確保 ■線引きの廃止 ■空き家の活用 ■移住者の受け入れ ■シニアクラブの活性化	■祭りの継承 ■イベントを合同で行う ■企業の協賛金、商品よくして人を集める
望ましい姿	機械化、ICT化をすすめて担い手不足を解消しながらブランド米を作って販路を拡大していく	高齢者はいきいきと、また子どもたちが戻ってきて家を建て働けるようなまち	魅力的なまつりやイベントを行い、子どもたちが帰って来て集うまちに

▲ 第2回 富田の魅力と課題を考える まとめ

富田のこれから「井戸端会議」～富田の魅力と課題を考える～

R5.9.30 WSまとめ

C

テーマ	空 家 ・ 人 口 減 少	老 後 高 齢 者 ・ 車 交 通
ご意見	■これからも増え続ける ■崩れかけのものがあ ←通学中危ない←解体にお金がかかるのでそのまま ■家賃が安いのであれば住みたい ■空き家増えると安全性が低くなる ■住む人がいない ■古民家カフェとしてリノベーションして活用(使えるものと使えないものが…) ■貸し出している家もある(地域づき合いしなくていいなら借りる人もいそう) ■空き家減らすには住んでもらうにはいいまちにする ■住民の意識改革が必要 ■工業団地に魅力はないか?(交通の利便はいい※トラック多い・外から仕事だけにくる) ■空き家減らすには住んでもらう、住んでもらうには良いまちにする ■人口増やすため企業誘致したが働くひと増え住む人増えず(通り道になっている) ■自然と居たいと思える環境づくり→付き合いを強要すると人は増えない(すぐ出ていく) ■入って来た人が地域のルールを理解していない→ゴミステーションをつかわないので共用費を払わない人も ■地域づきあひもしい ■住んだら住みやすい(治安良い) ■奨学金10年負担→10年後出ていく	■富田人口2,700人くらい→ほとんど老人 ■高齢化率45% ■免許返納したら困る(車ないと不便)→現状家族に送ってもらったりする ■半分くらいは老人だけの家→子ども世代が仕事で外にっている(もっと若い子はい) ■富バス…利用者少ない(トータル1日5人程?)→便も少ない ■富バス…維持費もかかる(運転手4名?) ■富バス…定期便では無駄が多い(電話で呼びたい) ■富バス…利用者が少ないのは思っていたものと違ったから ■富バス…来てほしい時間帯などをしっかり調べる ■家まで迎えに来てほしい ■オンデマンドの地域交通を強化 ■相乗りの制度を使う→利用者が多ければできそう
望ましい姿	□リノベーション住宅や古民家カフェにして空き家を活用する □民間で取り組めるような環境を整備する □住みたいと思える環境づくり→区ごとに特徴をもたす(付き合いがなくていい区・祭りなど積極的に関わる区)	□オンデマンドの地域交通を強化 →利用者が使いやすいように来て欲しい時間帯などを調査(免許返納世代を中心に)

富田のこれから「井戸端会議」～富田の魅力と課題を考える～

R5.9.30 WSまとめ

D

テーマ	老後高齢者・人口減少	空 家	地 域 の つ な が り	農 業
ご意見	■線引きが近々廃止される。この辺は北条に近く便利なので新興住宅を富田地区内につくる。 ■使える空き家は少しリフォームして新しい家族が使えるようにする ■高齢者は運動ポイント事業等を利用して健康を保てるようにする ■小規模介護施設か?大型優良施設か? ■独居老人がなくなれた後の住所、農地の管理 ■町の高齢者の%を増やしていく中、若者の負担をどう軽減していくか ■交通 ■高齢者の住みやすい町づくり、買い物、交通手段 ■地区内に介護施設あれば出ていかない ■病院山の上問題	■空き家の管理(入居の情報) ■危険空き家の増加 ■空き家のリノベーションでお試し居住	■富田小学校が小規模でも存在していることが大切 ■富田小学校を中心としてみんながつながっている ■まちづくり協議会の強化、存続(みそづくり、とみバス) ■自治会への不加入 ■負担の少ない集いの場を多く ■地域でのイベントが少ない ■小学校を残し地域の核に!	■後継者が不足しているのでICT化を進めて楽に農業ができるようにする ■組織を大きくする ■草刈り負担増 ■担い手…農家でも若年世代は農業を知らない ■若者の農業ばなれ ■市道、池、河川の草刈り等の負担(地域)参加者の減少 ■営農組合で管理すれば若い人も参加できる ■個人、営農法人化の様々なバリエーション ■オペレーターのみやってもらう場合も ■個別で耕作放棄対応している ■ブランド化は全体でないとできない ■営農組合があって帰ってこれた
望ましい姿	地区内の空き家、空き施設を活用し、福祉の機能をもたせ、人口流出を抑える		地域のコミュニティの核として小学校を残す!	過渡期と捉え個人、営農等の方法を尊重して継続し進める

▲ 第2回 富田の魅力と課題を考える まとめ

③ 第3回プログラム

日時：令和5年11月10日（金）

参加者：約22人

テーマ：理想の富田を再検討する

ワークショップの概要：

前回の内容を振り返り、本日の進め方を確認した後、前回検討しきれなかったテーマについて、富田地区の望ましい将来を議論しました。グループごとに意見交換を行い、検討結果を全体で共有しました。これにより、想定した全てのテーマでの検討を終えました。



▲ ワークショップの様子



▲ 模造紙まとめ

富田のこれから「井戸端会議」～富田の魅力と課題を考える～

R5.11.10 WSまとめ

A

テーマ	車・交通	災害・防災	地域団体(消防団等)
意見	■先の未来の自動運転に期待! ■子供たちも社会勉強になるので[富バス]を使えるようになればいい →[富バス]のネックなところは行ったっきりになって帰って来にくい ■乗り換えが必要で使いづらい [西脇→栗生→小野] ■神姫バスか北条鉄道くらいしかない ■バスも電車で神戸や大阪に行く便が減った	■今まで消防団が災害で出動したのは1回だけ ■南海トラフばかり注目されているが三木、山崎断層は? →加西の災害への意識が薄い ■避難所が富田小学校のみなので歩いては行けない →公民館を避難所にはしないのか? ■公民館は耐震基準が満たしていないので使用できない所もあるのでは ■どこが避難所かしらない人もいる ■いざ災害が起こった際に物資は足りるのか?	■消防団「卒業」が無い問題 →若い人が入って来ないので年長が引退できず ■消防団に在るが活躍できるタイミングがない ■活動内容に対して「報酬」は妥当なのか? ■そもそも消防団は必要なのか? (市などは無い) ■火事があっても到着は消防署の方が結局早い ■バリバリ動ける年代の消防団は有事の際には地域にいない(仕事などで)
望ましい姿	☐ 加西版ライドシェア 例:イオンに行く時に近所さんを拾っていく	☐ 学校を巻き込んだ地域の防災訓練を! →子供が行けば大人もついて行くので参加者が増える	☐ 決められた人数が多すぎるので、実態を見て活動に適した人数を!

富田のこれから「井戸端会議」～富田の魅力と課題を考える～

R5.11.10 WSまとめ

B

テーマ	車・交通	地域団体(消防団等)	災害・防災	森林・池	その他
意見	■道路整備が必要に比べて遅れている ■安心して歩ける道が必要 ■従来の基本である幹線道路の整備(バイパスを利用) ■ライドシェア (一般人が有料で送迎) ■近所の助け合い→買い物の誘い合い ■富バスは直接市街地に行けるのでデマンドではないということバス型になった。しばらくは現状維持して市全体としての方針が変わるのを待つべき ■富バスは行き先を増やす (病院・市役所) ■富バス、北回りルートの再考を(遠いところからスタートして北条へ)	■団員の減少で合併を検討 ■普段の生活の中に消防活動をする ■消防団は適正に合併すべきだが、消防団は親睦、ボランティア団体としてまちにとっては、なくてはならない存在 ■構成員を少なくする(自治防災組織) ■女性の消防団参加もあり? ■地元の人に訓練を ■消防署に指導してもらい消化器の使用を覚える	■要援護者の対策と把握 ■町内で避難訓練実施 ■地区ごとの防災地図がないので作成が必要 ■対応策がない ■連絡網、連絡手段 ■危険地域の確認	■倒木対策、猪の柵 ■池の管理(行政の規制が厳しい) ■池の水利、管理者の問題(誰かが問題になる) ■池の水管理 →冬場は水量少なく対策 ■山の所有者に管理を頼めない ■所有者不明の土地の対応をどうするか	■病院等 ■住宅開発
望ましい姿	☐ 有効利用を模索する ☐ ルートの再検討 ☐ 富バスのPR周知、コーヒーマーケットサービス	☐ 団体の合併 →防犯、交通安全、社会教育推進委員、補導委員等	☐ 合同避難訓練をすべき	☐ 行政の力を借りたい ☐ 境界線をはっきりさせる地籍調査 ☐ パフファゾーン里山整備	☐ 病院、健康特区を作る →アグサス加西、健診センター、ウォーキングコース ☐ 西上野谷の補助。整備していないところに大きな新興住宅を作りたい。2年後には市街地調整区域等の線引制度がなくなる予定

▲ 第3回 富田の魅力と課題を考える まとめ

富田のこれから「井戸端会議」～富田の魅力と課題を考える～

R5.11.10 WSまとめ

C

テーマ	森 林 ・ 池	災 害 ・ 防 災	地域団体(消防団等)	車 ・ 交 通
い意見	■豪雨被害、道路が川みたいになる ■雨の振りが変わってきている ■池が浅くなっている ■山が荒れており土砂と水が流れてくる ■昔は水呼び込んだが今は異なる ■池のじゃこ取り→土を自分の田に!(今はしない) ■山は荒れている→猪多い ■森林は整備しても売れない(木の値打ちが無い) ■個人の山もあれば村の山もある ■境界もあいまいになっている ■役員が新しくなると境界を確認しに行く(町の山) ■昔は境界のかわりの道があった ■松茸が生えていたときは山に入っていた ■松が枯れて松が減った ■部分的には再生している ■プロパンガスで山に入らなくなった ■山で生計は立てられない ■山の掃除が大変(20年かかる)	■崩れる山は少ない ■昔の谷川は埋まり水の流れ方が変わる →水の筋が変わった	■消防の役割(本来とは違う)が減っている ■定年が30→50代に(このあたりの人はいない) ■消防団の合併は難しい ■消防器材の配置などは問題あり ■屋間に今は誰もいない ■防災訓練を消防団もできていない ■地域防災の訓練はすべき ■119の方が早い(…が最近はやい) ■誰かができるようにする必要あり	■バスを増やせば赤字が増える ■使う人が増えるだろうか…… ■行政、タクシーとの同意が必要
しい望ま	☐松茸が生える山にする ☐災害に強い松への転換		☐消防団員に限らず皆で初期消火できるようにする(各家庭でできるようにする)	

富田のこれから「井戸端会議」～テーマ別 望ましい姿～

R05.11.10 ws

◆ 車・交通

- ☐有効利用を模索する
 - ☐ルートの再検討
 - ☐富バスのPR 周知、コーヒーのサービス
 - ☐加西版ライドシェア
- 例：イオンに行く時にご近所さんを拾っていく

◆ 地域団体(消防団等)

- ☐団体の合併
→防犯、交通安全、社会教育推進委員、補導委員等
- ☐決められた人数が多すぎるので、実態を見て活動に適した人数を！
- ☐消防団員に限らず皆で初期消火できるようにする(各家庭でできるようにする)

◆ 災害・防災

- ☐合同避難訓練をすべき
- ☐学校を巻き込んだ地域の防災訓練を！
→子供が行けば大人もついて行くので参加者が増える

◆ 森林・池

- ☐行政の力を借りたい
- ☐境界線をはっきりさせる地籍調査
- ☐バッファゾーン里山整備
- ☐松茸が生える山にする
- ☐災害に強い松への転換

◆ その他

- ☐病院、健康特区を作る
→アクサス加西、健診センター、ウォーキングコース
- ☐西上野谷の補助。整備していないところに大きな新興住宅を作りたい
2年後には市街地調整区域等の線引制度がなくなる予定

▲ 第3回 富田の魅力と課題を考える まとめ

④ 第4回プログラム

日時：令和6年1月13日（土）

参加者：25人

テーマ：未来像と実現方法の検討

ワークショップの概要：

前回の結果をもとに整理した、望ましい将来に向かうための具体的な活動提案を示したカードを用意し、その主体や時期、活動ごとの関係性などを整理しました。各グループは、テーマごとに検討し、最後に全体でその内容を共有しました。これにより、計画の骨子を取りまとめられました。



▲ ワークショップの様子



▲ 模造紙まとめ

テーマ	目標
農業	富田の農業を守る、農業のデジタル化と地域の利便性向上が図れるまち
地域	米のブランド化を図る 農作物の買い手の関係を図る 農作物のブランド化を推進する 農作物の買い手の関係を図る
協働	農作物の買い手の関係を図る 農作物の買い手の関係を図る 農作物の買い手の関係を図る
行政	農作物の買い手の関係を図る 農作物の買い手の関係を図る 農作物の買い手の関係を図る

テーマ	目標
森林	境界がはっきりして管理しやすく、豊かで近頃強い森のあるまち
地域	猪の糞を処理する 山の境界をみんなで確認する 山所有者の境界をはっきりさせる 山所有者の境界をはっきりさせる
協働	猪の糞を処理する 山の境界をみんなで確認する 山所有者の境界をはっきりさせる
行政	猪の糞を処理する 山の境界をみんなで確認する 山所有者の境界をはっきりさせる

テーマ	目標
高齢者	高齢になっても話し相手があり、健康でいきいきと暮らしやすいまち
地域	話し相手を見つける 話し相手を見つける 話し相手を見つける
協働	話し相手を見つける 話し相手を見つける 話し相手を見つける
行政	話し相手を見つける 話し相手を見つける 話し相手を見つける

テーマ	目標
こども・若い世代	若い世代の働く場があり、子どもたちが戻ってくるができるまち
地域	働く場を見つける 働く場を見つける 働く場を見つける
協働	働く場を見つける 働く場を見つける 働く場を見つける
行政	働く場を見つける 働く場を見つける 働く場を見つける

テーマ	目標
地域のつながり	富田小学校を中心に、身近な地域関係と協力関係の行事でつながるまち
地域	富田小学校を中心に、身近な地域関係と協力関係の行事でつながるまち
協働	富田小学校を中心に、身近な地域関係と協力関係の行事でつながるまち
行政	富田小学校を中心に、身近な地域関係と協力関係の行事でつながるまち

テーマ	目標
交通	安心して歩ける道があり、買い物や通院に不便のないまち
地域	安心して歩ける道があり、買い物や通院に不便のないまち
協働	安心して歩ける道があり、買い物や通院に不便のないまち
行政	安心して歩ける道があり、買い物や通院に不便のないまち

テーマ	目標
防災	防災拠点が整備され、大人も子どもも訓練を通して災害対策ができるまち
地域	防災拠点が整備され、大人も子どもも訓練を通して災害対策ができるまち
協働	防災拠点が整備され、大人も子どもも訓練を通して災害対策ができるまち
行政	防災拠点が整備され、大人も子どもも訓練を通して災害対策ができるまち

テーマ	目標
空き家対策	使える空き家が活用され、福祉や住宅、カフェ等で活用され、みんなが暮らしやすくなるまち
地域	使える空き家が活用され、福祉や住宅、カフェ等で活用され、みんなが暮らしやすくなるまち
協働	使える空き家が活用され、福祉や住宅、カフェ等で活用され、みんなが暮らしやすくなるまち
行政	使える空き家が活用され、福祉や住宅、カフェ等で活用され、みんなが暮らしやすくなるまち

▲ 第4回 ワークショップ まとめ

農 業		森 林	
農業の法人化・企業化の進展により、 農業の黒字化と地域の利便性向上が図れるまち		境界がはっきりして管理しやすく、 豊かで災害に強い森のあるのまち	
■過渡期は個人や営農など多様な農業のあり方を尊重する ■周辺集落と法人化を検討する ■水入れのICT化（自動化）を図る ■雑草ひきを有償で頼む・外部委託する ■農作物の買い手の開拓を図る ■草刈りの機械化・無人化を図る ■多品種の農業経営を検討する ■米のブランド化を図る ■耕作放棄地対策を地区全体で検討する		■山の境界をみんなて確認する ■松を再生して、松茸が生えるようにする ■猪の柵を設置する ■バッファゾーンとなる里山整備を実施する ■山の所有者と境界をはっきりさせる（地籍調査） ■倒木対策を行う ■災害に強い木への樹種転換を図る	
老後・高齢者		こども・若い世代	
高齢になっても話し相手があり、 健康でいきいきと暮らしやすいまち		若い世代の働く場があり、 子どもたちが戻ってくるができるまち	
■シニアクラブの活性化を図る ■「集いの場」のリーダーを育てる ■運動ポイント事業等を活用し健康増進を図る ■地区内に介護や福祉の施設を誘致する ■同じ世代で集まれる「集いの場」をつくる ■病院・健康特区を設ける		■働く場と働きたい人のマッチングを図る ■移住者の受け入れを図る ■企業誘致を図る ■住宅団地の開発を誘致する	
地域のつながり		交 通	
参加しやすい地域団体を中心に、 富田小学校を軸に、 富田小学校を中心にして、 参加しやすい地域団体と魅力的な行事でみんながつながるまち		安心して歩ける道があり、 買い物や通院に不便のないまち	
■子どもに魅力的な祭やイベントを企画検討する ■イベントで企業の協賛金を集め、商品をよくする ■消防団の適正化（人数等）や女性参加を検討する ■防犯、交通安全等の団体の合併や適正化（人数等）を検討する ■負担の少ない「集いの場」を企画検討する ■祭の継承を検討する ■イベントを合同で実施する ■年齢による出役免除を検討する ■幹線道路の整備を要望する ■一般人が有償で送迎できる加西版ライドシェア促進を要望する ■買い物の誘い合い等で互いに助け合う ■富バスのルートや行き先の変更を要望する		■オンデマンドの地域交通強化を図る ■免許返納世代を中心に、利用時間帯などの調査を行う ■安心して歩ける道路整備を要望する ■幹線道路の整備を要望する ■一般人が有償で送迎できる加西版ライドシェア促進を要望する ■買い物の誘い合い等で互いに助け合う ■富バスのルートや行き先の変更を要望する	
災害・防災		空き家・空き施設	
防災拠点が整備され、 大人も子どもも訓練を通じて災害対策ができるまち		使える空き家が流通し、福祉や住宅、カフェ等で活用され、 みんなが暮らしたくなるまち	
■要援護者を把握し対策を検討する ■地区ごとの防災地図を作成する ■各家庭でも初期消火ができるよう訓練を行う ■公民館の耐震工事を実施し避難所に指定してもらう ■町内での避難訓練を実施する ■災害時の連絡網や連絡手段を確認する ■学校を巻き込んだ合同避難訓練を実施する		■空き家情報（入居情報）を管理する ■危険空き家の対応を図る ■空き家に介護・福祉の機能を持たせ活用する ■空き家をリノベーション住宅や古民家カフェで活用する ■区ごとに特徴を持たせ、移住したくなる環境をつくる ■空き家バンクの活用を促進する ■空き家を活用した「お試し居住」を行う ■空き家の社宅としての活用を誘致する	

⑤ 第5回プログラム

日時：令和6年3月16日（土）

参加者：23人

テーマ：計画素案と将来像の再確認

ワークショップの概要：

前回の成果をもとに取りまとめた計画素案（叩き台）を参加者全員で検討し、必要な修正を検討しました。また望ましい富田の将来の姿を示すキャッチコピーについても、参加者各自の意見を短冊用紙にまとめ、全体で確認しました。次年度の役員交代に伴い、これらの意見を引き継ぎ、検討を進めることを確認して終了しました。



▲ ワークショップの様子



▲ ワークショップ まとめ

⑥ 第6回プログラム

日時：令和6年6月29日（土）

参加者：18人

テーマ：これまでの活動進捗と今後の展望

ワークショップの概要：

今回からまちづくり計画策定委員会としての検討が始まりました。各委員の自己紹介を通して、それぞれの富田地区への思い（好きな所や困っている点）を共有しました。その後、これまでの経過や年間スケジュールを確認した上で、グループに分かれて、計画素案（叩き台）を確認し、必要な修正を行いました。最後に全体で共有し、修正の方向性を取りまとめた上で、検討不足が指摘された「女性の参画」については、次回検討することを確認しました。



▲ ワークショップの様子



▲ 模造紙まとめ

⑦ 第7回プログラム

日時：令和6年8月9日（金）

参加者：15人

テーマ：計画修正とアンケート実施方法の検討

ワークショップの概要：

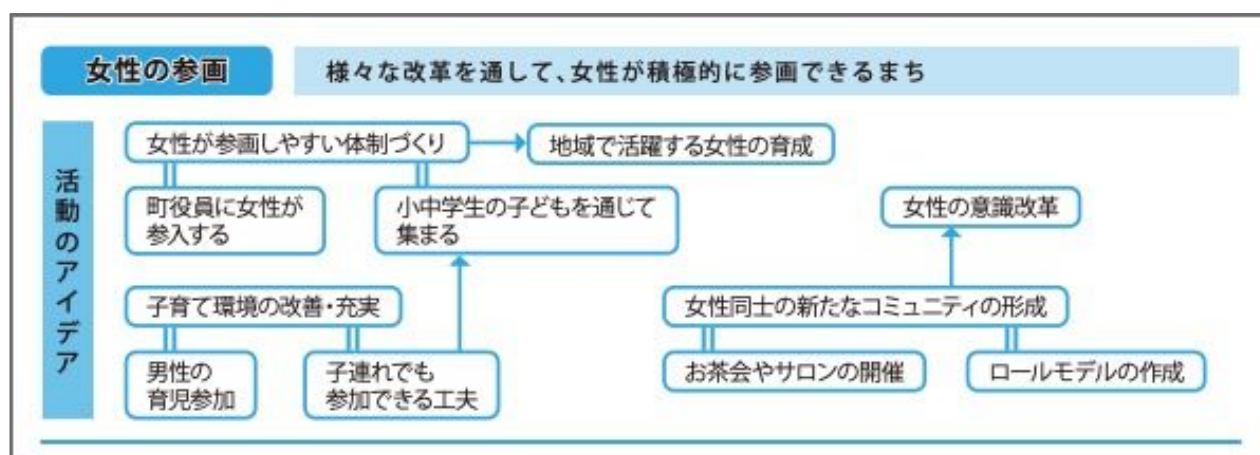
これまでの活動を振り返った後、計画の修正案が確認されました。その後、グループに分かれ「女性の参加」に関して検討しました。また、他地区の事例を参考にしながらアンケート内容や実施方法についても議論しました。最後に全体で共有して、今後の計画策定とアンケート実施の方針を固めました。



▲ ワークショップの様子



▲ 模造紙まとめ



▲ 第7回 活動方針 女性の参画追加 まとめ

⑧ 第8回プログラム

日時：令和6年10月4日（金）

参加者：17人

テーマ：アンケート案の見直しと改善

ワークショップの概要：

これまでの進捗と計画案の修正点を確認した後、前回の意見をもとに作成したアンケートの叩き台を、参加者全員で検討しました。アンケート内容の修正案をまとめ、今後の配布や回収方法についても話し合い、実施の方向性を共有しました。



▲ ワークショップの様子



▲ 模造紙まとめ

⑨ 第9回プログラム

日時：令和6年11月1日（金）

参加者：16人

テーマ：アンケート案と実施方法の詳細検討

ワークショップの概要：

これまでの経過を踏まえ、アンケートの内容を確認した上で、実施方法について具体的に検討しました。また、計画配布後に重要となる、計画の表紙について、他地区の事例を確認し、次回の検討に備えました。



▲ ワークショップの様子

⑩ 第10回プログラム

日時：令和6年12月26日（木）

参加者：14 人

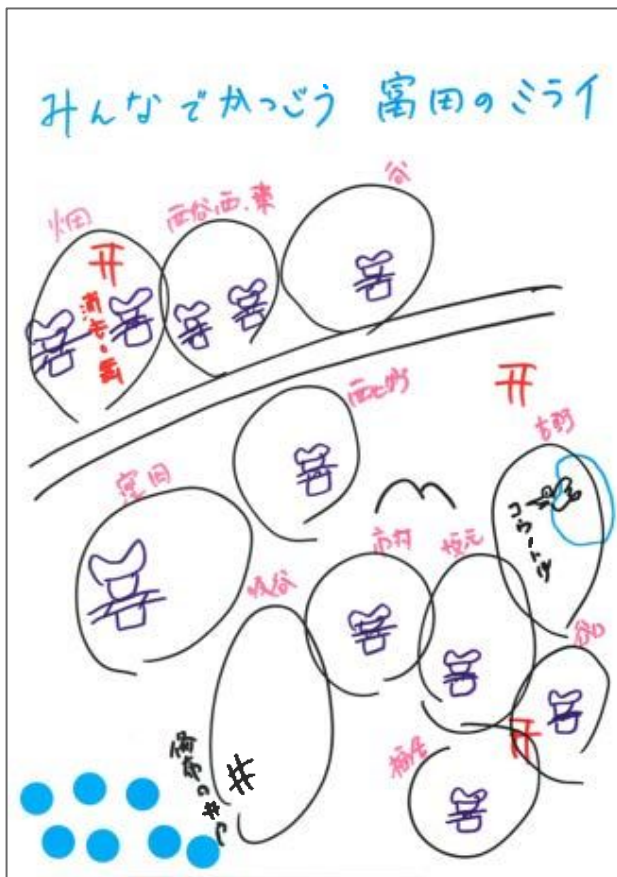
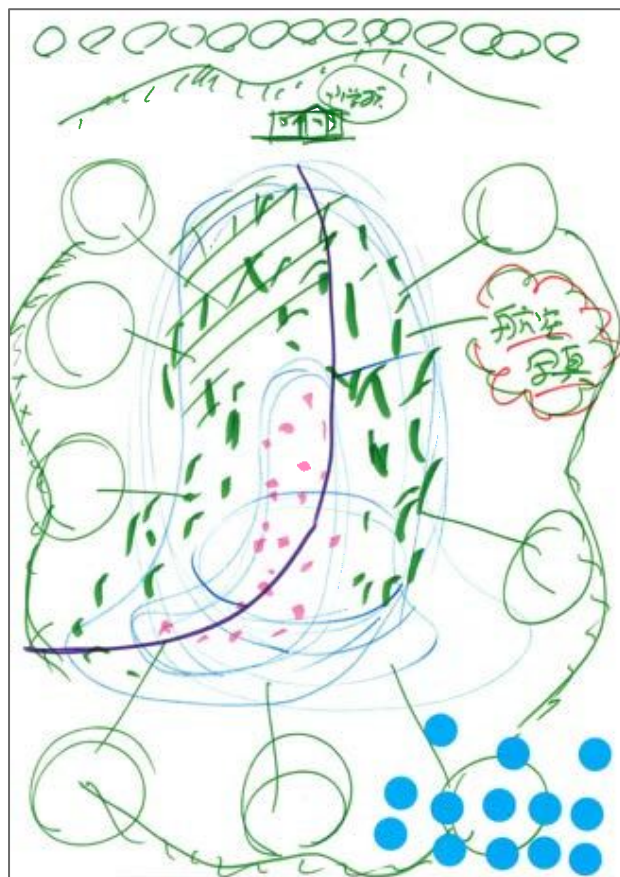
テーマ：アンケート結果と表紙デザインの検討

ワークショップの概要：

実施したアンケートの結果の概要を確認し、その内容に基づいて、計画に関する意見交換を行いました。その後、他地区の事例を参考に、計画書の表紙案を検討し合い素案を作成しました。また望ましい将来像を端的に伝える、キャッチコピーについて、次回までに検討してくることを確認しました。



▲ ワークショップの様子



▲ 計画書の表紙案

⑪ 第11回プログラム

日時：令和7年1月28日（火）

参加者：約16人

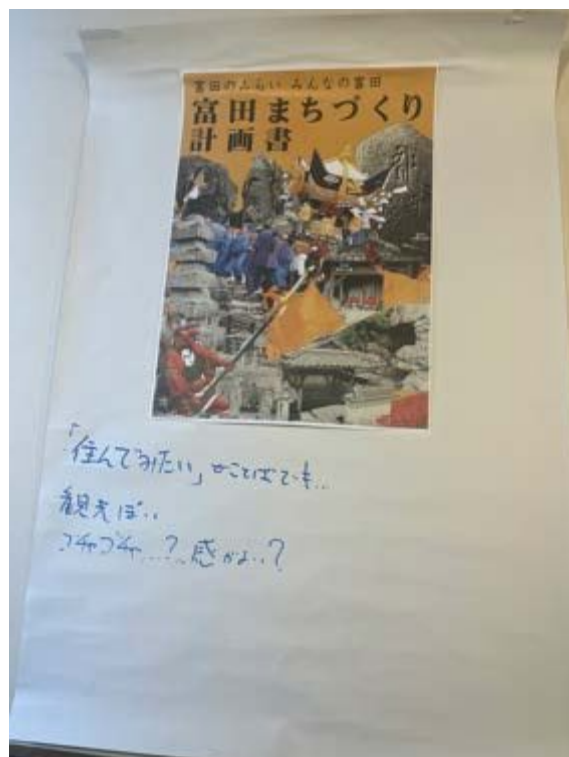
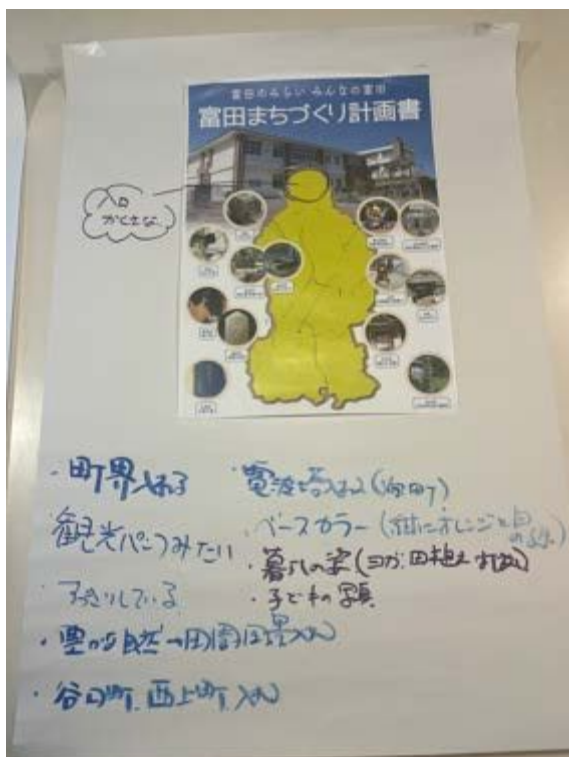
テーマ：計画書のキャッチコピーと表紙デザイン案の確認

ワークショップの概要：

これまでの経過を確認したのち、各自で検討したキャッチコピー案を発表し、投票を通して、方向性を決定しました。投票数だけでは決まらなかったため、最終決定は次回に行うこととなりました。続いて前回の素案をもとに作成された表紙案2案を検討しました。こちらは挙手により、最終的なデザインの方向性をまとめ、次回に確認することとなりました。



▲ 計画書 タイトル案



▲ 計画書 表紙案

⑫ 第12回プログラム

日時：令和7年2月26日（水）

参加者：17人

テーマ：計画書の確認

ワークショップの概要：

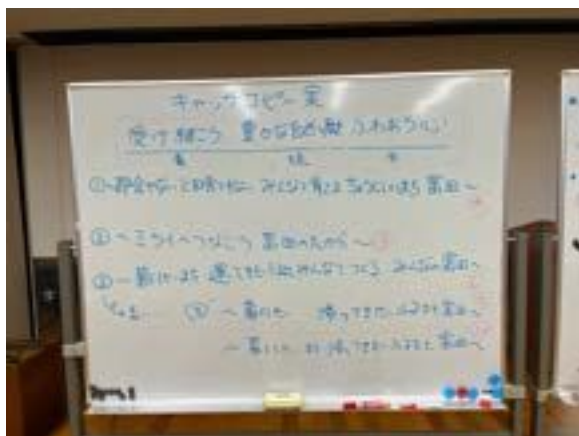
はじめにこれまでの経過を確認したのち、前回検討した表紙案について最終的な確認を行いました。意見交換を経て、方向性を確定しました。続いて、キャッチコピー案の説明を行い、意見を出し合いながら投票を実施し、最終的な案を決定しました。

その後、計画書案の確認を行い、自治区や自治会の表現の明確化などについて意見が出されましたが、全体的に概ね問題はないと判断されました。ワークショップ内では大きな修正は行わず、内容の確認を重点的に進めました。

最後に、富田地区が目指す将来像の計画案概要について、市民の意見を広く募るため、Web アンケートを実施することを確認しました。今後の進め方を確認したうえで、ワークショップを終了しました。



▲ ワークショップの様子



▲ キャッチコピー案と表紙の検討

⑬ 第13回プログラム

日時：令和7年3月21日（金）

参加者：12人

テーマ：計画書を確認する

ワークショップの概要：

はじめにこれまでの経過について簡潔に振り返った。次に、計画書案の確認に移り、まずは表紙について、前回のフィードバックを反映した修正内容を確認。

続いて、前回のパブリックコメントやメールで寄せられたご意見に基づく修正箇所について、意見交換を実施し、各項目の方向性を取りまとめた。また計画書本文については「どこを特にみればよいかわからない」という指摘を受け、重要箇所に赤枠やアンダーライン、赤文字で強調する案を採用することで、視認性の向上を図った。

今後の活動として、作成したまちづくり計画書が形だけのものにならず、実効性のあるものとなるよう、最初に取り組むべき具体的な施策を議論し、次期役員への活動の指針として整理することを確認した。



▲ ワークショップの様子

第3章 富田地区が目指す将来像

これまでの検討結果を元にまとめた、富田地区が目指す将来像と、まちづくりの基本方針を、以下に示します。

(1) まちづくりの将来像

受け継ごう 豊かな自然と歴史 ふれあう心
～ 暮らしたいまち 帰ってきたいふるさと 富田 ～

(2) まちづくりの基本方針

i. 農業

富田の農業を守る、農業の黒字化と地域の利便性向上が図れるまち

ii. 森林

境界がはっきりして管理しやすく、豊かで災害に強い森のあるまち

iii. 地域のつながり

富田小学校を中心に、参加しやすい地域団体と魅力的な行事で
みんながつながるまち

iv. 交通

安心して歩ける道があり、買い物や通院に不便のないまち

v. 空き家・空き施設

使える空き家が流通し、福祉や住宅、カフェ等で活用され、
みんなが暮らしたくなるまち

vi. こども・若者

若い世代の働く場があり、子どもたちが戻ってくることができるまち

vii. 高齢者

高齢になっても話し相手があり、健康でいきいきと暮らしやすいまち

viii. 女性の参画

様々な改革を通して、女性が積極的に参画できるまち

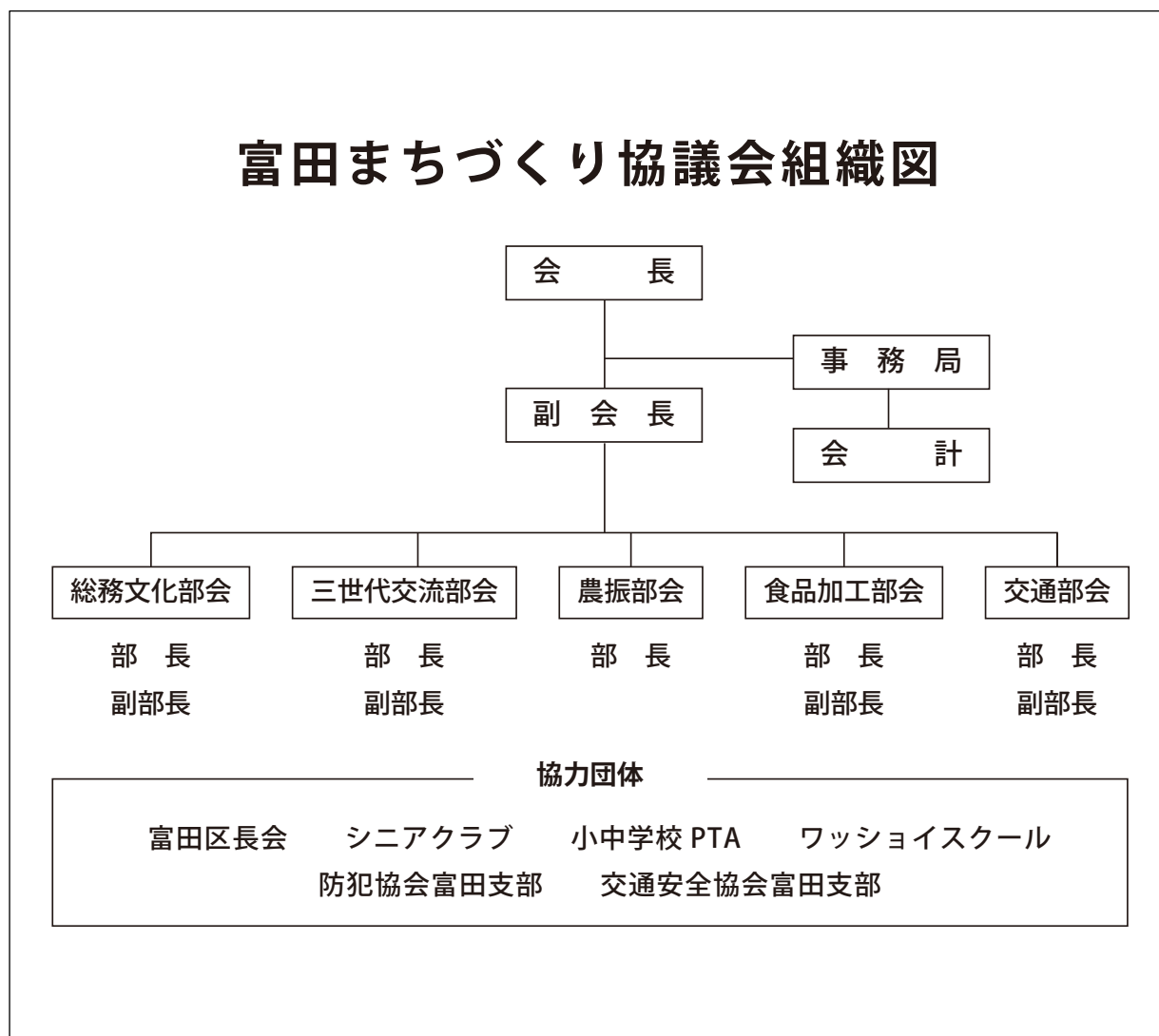
ix. 防災

防災拠点が整備され、大人も子どもも訓練を通じて
災害対策ができるまち

第4章 まちづくりの推進に向けて

(1) 活動組織の体制

現在、富田地区では、自治会を始め民生委員やPTA、シニアクラブ、青少年健全育成会など様々な地域団体が活動しています。今後、まちづくり計画に基づき、地域課題に対応するため、これらの団体の連携を強め、多くの地域住民の皆さんが協働、連携して活動することが必要です。そして「地域で決めて、地域で実行する」しくみの主体が、富田まちづくり協議会です。富田まちづくり協議会では、以下に示すこれまでの実施体制を継承し、計画に沿った、具体的な活動を展開します。



▲ 富田地区 組織イメージ図

(2) 今後の活動計画

富田まちづくり協議会では、望ましい将来のまちの実現のために、多様な地域住民の参画のもと、各種団体との協働により具体的な活動を行います。計画に定めた9つのテーマに沿った、活動方針と具体的な活動を示します。

i. 農業

望ましい将来像と活動方針

富田の農業を守る、 農業の黒字化と地域の利便性向上が図れるまち

富田地区では、農業が収益面でも安定し、地域全体の利便性向上に寄与する産業として確立されることを目指します。初期においては、個人による耕作や組織的営農など、多様な農業のあり方を尊重することとし、後継者不足が課題視される農作物の担い手の育成と買い手の開拓に注力します。同時に、農業従事者の負担軽減を図るため、草刈りの有償依頼や外部委託する仕組みづくり、機械化や水入れのICT化など、効率化を図ります。そして、米をはじめとした農作物のブランド化を図ることで、富田ならではの特産品としての価値を高めます。

こうした活動を背景として、各自治会内から富田地区内での組合統合を順次進め、最終的には、周辺集落と統合した営農組織の法人化・企業化の検討に向かいます。そして圃場整備を大規模で進めることにより、耕作放棄地対策を地域全体で取り組める体制づくりを目指します。これら具体的な活動を積み重ねる中で、農業の黒字化を実現し、それが地域の利便性向上に寄与する仕組みをつくり出します。

活動の主体と内容および手順



ii. 森林

望ましい将来像

境界がはっきりして 管理しやすく、豊かで災害に強い森のあるまち

富田地区内の貴重な森林資源を、災害に強い森として次世代に継承するため、まずは倒木対策を行うとともに、山に入るための必要な道の整備を行い、必要な場所には獣害柵の設置することで、安心して山に入ることができ、管理しやすくする状態を作ります。

そして森林の所有者と連携し、所有地の境界線を確認する機会を設けます。その上で、地籍調査を通じて、その境界を明確化すると同時に、バッファゾーン(野生動物との共生緩衝地帯)として機能する里山の整備を実施します。

最終的には災害に強い樹種への樹種転換を図る取り組みを進め、管理の容易化を図ることで、将来的な自然災害に対する耐性を高め、持続可能な森林管理体制を確立し、豊かな森を未来に引き継ぐ基盤を整えます。

活動の主体と内容および手順



iii. 地域のつながり

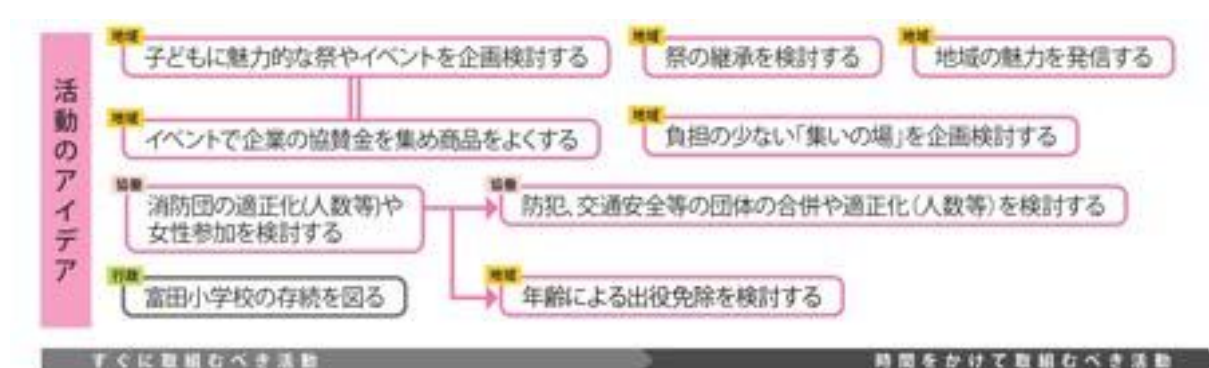
望ましい将来像

富田小学校を中心に、参加しやすい地域団体と 魅力的な行事でみんながつながるまち

富田地区の地域の絆を深めるためには、富田小学校の存続を図り、小学校を中心とした地域活動の充実を図ることが望ましいです。そのために、企業等の協賛金を集めて賞品をよくするなど、子どもにとって魅力的な祭りやイベントを企画することが、初期の活動では必要です。同時に、消防団について人員数などの適正化を図ると同時に、女性の参加を促し、負担軽減と地域により密着した活動の展開を図ります。

その上で、防犯・交通安全団体の合併や、各種地域団体の人数等の適正化、年齢に応じた出役免除の検討などを通じ、より多くの住民が、より負担少なく参加できる環境をつくります。そして、誰もが気軽に交流でき、運営者の負担も少ない、「集いの場」を企画検討すると同時に、祭りや伝統行事の継承を図ります。こうした活動を通じ、地区内外の住民や子供たちに対し、地域の魅力を発信し、地域の絆を深めます。

活動の主体と内容および手順



望ましい将来像

安心して歩ける道があり、 買い物や通院に不便のないまち

住民にとって望ましい交通のあり方を確認するため、特に公共交通が必要となる免許返納世代を中心に、「とみバス」の利用時間帯など利用状況の実態調査を行います。その上で、一般住民が有償で送迎できる加西版ライドシェアを市と協働体制でつくることや、オンデマンド交通などの新たな地域交通強化を市に要望します。

そして、とみバスのルートや行き先の見直しを図ると同時に、買い物の誘い合いなど、地域全体で助け合う仕組みづくりに取り組みます。公的な道路については、歩行者が安心できる道路整備や、幹線道路の整備を要望します。こうした活動を通じ、住民が高齢化し自動車が利用できなくなっても、日常生活で安心して歩け、買い物や通院に不便のないまちになることを目指します。

活動の主体と内容および手順



V. 空き家・空き施設

望ましい将来像

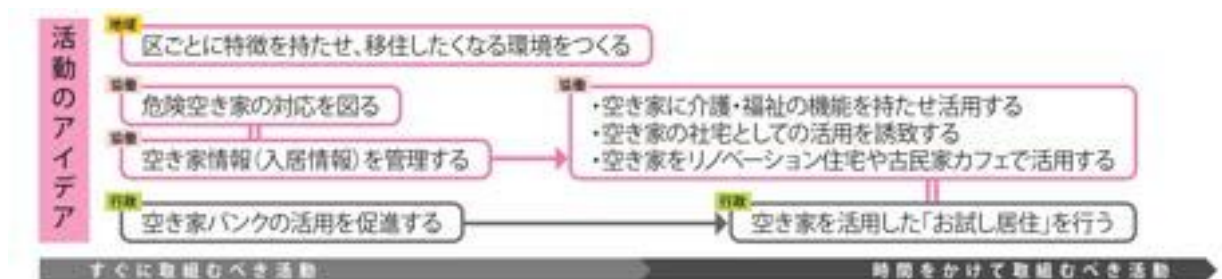
使える空き家が流通し、
福祉や住宅、カフェ等で活用され、みんなが暮らしたくなるまち

地区内で増加しつつある空き家・空き施設は、課題と捉えるだけでなく、地域資源として積極的に活用を図ることを通じて、地域の魅力増進に結びつけます。

初期においては、住民自身が空き家バンクへの登録を進めるなど、市と協力してその活用を図ります。そして危険な空き家については迅速な対応を図り、同時に空き家情報や入居情報を地域で管理できる体制をつくり、現状把握を行います。その上で、空き家に介護や福祉の機能を持たせた活用、社宅としての利用促進、さらにリノベーションによる住宅や古民家カフェとしての転用を図ります。そして市による「お試し居住」を活用し、定住人口の増加に結びつけます。

また受け入れる側として、区ごとに空き家再生や移住促進に関する特徴をはっきりさせ、希望者が移住したくなるような環境を整えます。これら活動を通じて、みんなが暮らしたくなるようなまちを目指します。

活動の主体と内容および手順

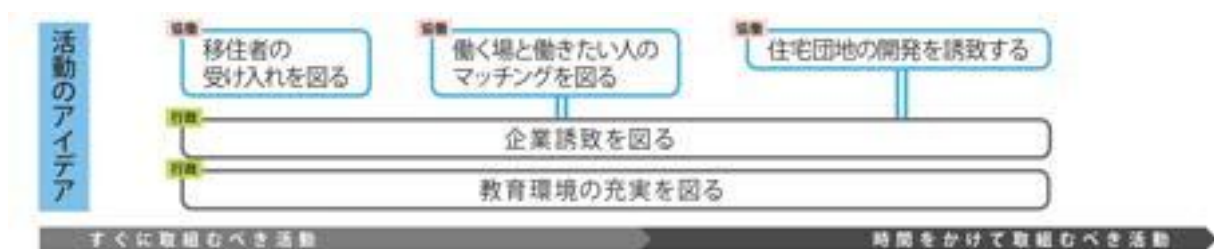


望ましい将来像

若い世代の働く場があり、 子どもたちが戻ることができるまち

富田地区では、地区外に出た子どもたちが戻り、地域に根付くためには、若い世代が働く場を確保できることが大切だと考えます。そのため住民自身では困難な、企業誘致や教育環境の充実を、市に対して求めます。その上で初期には、すでに兆候のある移住者の受け入れを、地域として積極的に行います。そして働く場と働きたい人とのマッチングを促進し、企業誘致との連携を図ります。さらに交通の利便性の高さを生かし、住宅団地の開発誘致を目指します。

活動の主体と内容および手順



vii. 高齢者

望ましい将来像

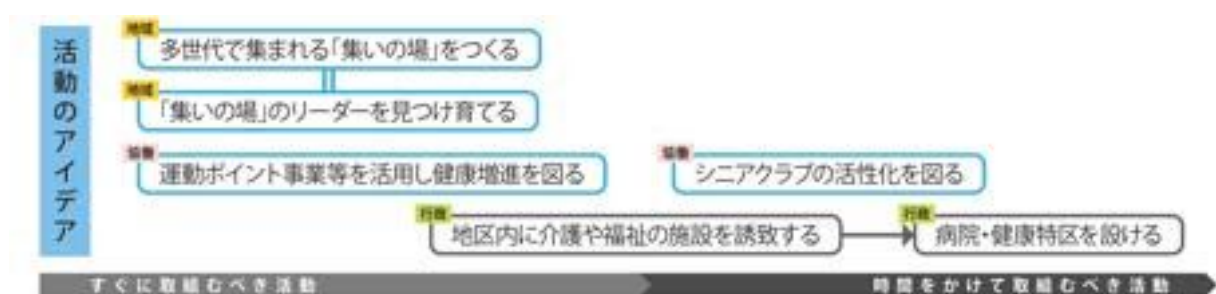
高齢になっても話し相手があり、 健康でいきいきと暮らしやすいまち

高齢化の進行が確実な中、高齢者が健康でいきいきと暮らせる環境をつくることは、これからのまちづくりにおいて不可欠です。そのための最初の取り組みは、多世代で集まれる「集いの場」をつくることです。そのためには「集いの場」の運営ができるリーダーを見つけ育てることが同時に必要です。

また、すでにある運動ポイント事業など、市の健康促進施策を活用し、住民自身が自らの日常的な健康維持を図ります。こうした活動を通じ、シニアクラブを活性化します。

その上で、地区内への介護・福祉施設の誘致や、その先にある病院・健康特区の指定を目指すこととします。

活動の主体と内容および手順



viii. 女性の参画

望ましい将来像

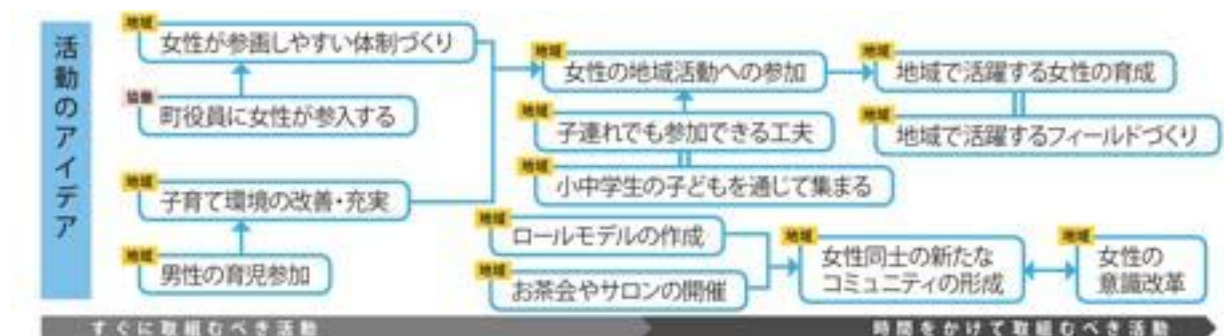
様々な改革を通して、 女性が積極的に参画できるまち

富田地区では、地域活動における女性の参画が、まだまだ不十分であると考えられます。そこで町役員に女性が参入しやすくするなど、女性が参画しやすい体制づくりを地域で行います。一方、各家庭では男性の育児参加を促すなど、地域でできる子育て環境の充実を図ります。こうした体制づくりを通じて、具体的な女性の地域活動への参加を促しますが、その際には、小中学生の子どもたちの活動を通じた参加や、子連れでも参加できるような工夫を実践します。これらを通じて地域で活躍する女性の育成を図るとともに、彼女らが活躍できるフィールド（場や分野）を用意するようにします。

同時に、女性が主体のお茶会やサロンの開催などを通じて、女性の参画のロールモデル（模範となる存在）を見出し、女性同士の新たなコミュニティ形成を支援します。

以上を通じ、地域に暮らす女性たちが主体的に地域活動に参加するような意識の改革を促します。

活動の主体と内容および手順



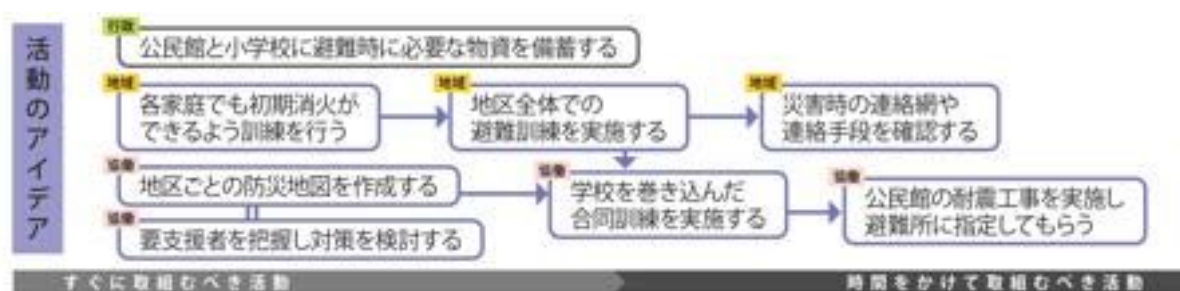
望ましい将来像

防災拠点が整備され、 大人も子どもも訓練を通じて災害対策ができるまち

富田地区では、大人も子どもも、自らが訓練を通じ、災害対策ができるまちを目指します。そのための前提として、公民館や小学校に、避難時に必要な物資を備蓄することができるよう、市に要望します。

そしてまず、各家庭で初期消火が行えるような訓練を実施します。同時に災害時の要支援者を把握し、対策を検討するとともに、地区ごとの防災地図を作成します。その上で、地区全体での避難訓練を実施し、さらに学校を巻き込んだ合同訓練の実施を図ります。こうした活動を通じ、災害の実践的な連絡網や連絡手段を確認します。一方で、災害時の拠点となりうる公民館の耐震工事を要望し、避難所としての指定を目指します。

活動の内容と主体および手順



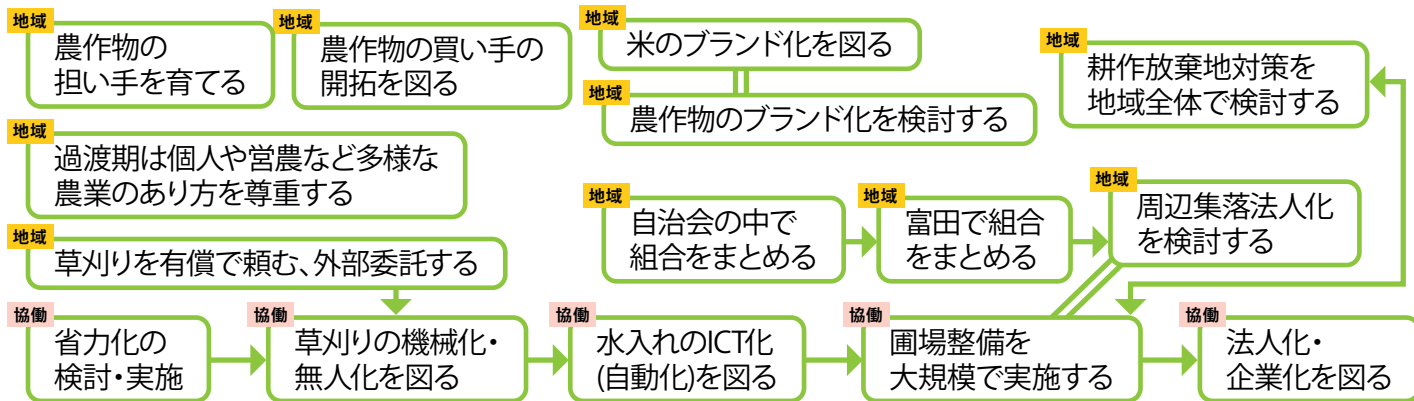
資料編

富田まちづくり計画(ダイジェスト版)

農 業

富田の農業を守る、農業の黒字化と地域の利便性向上が図れるまち

活動のアイデア



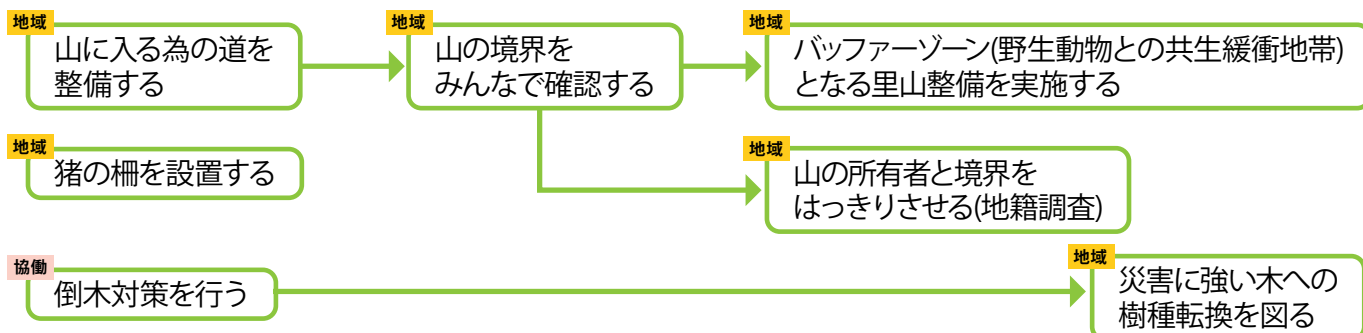
すぐに取り組むべき活動

時間をかけて取り組むべき活動

森 林

境界がはっきりして管理しやすく、豊かで災害に強い森のあるのまち

活動のアイデア



※一町ずつでもモデルケースを作って実施する。

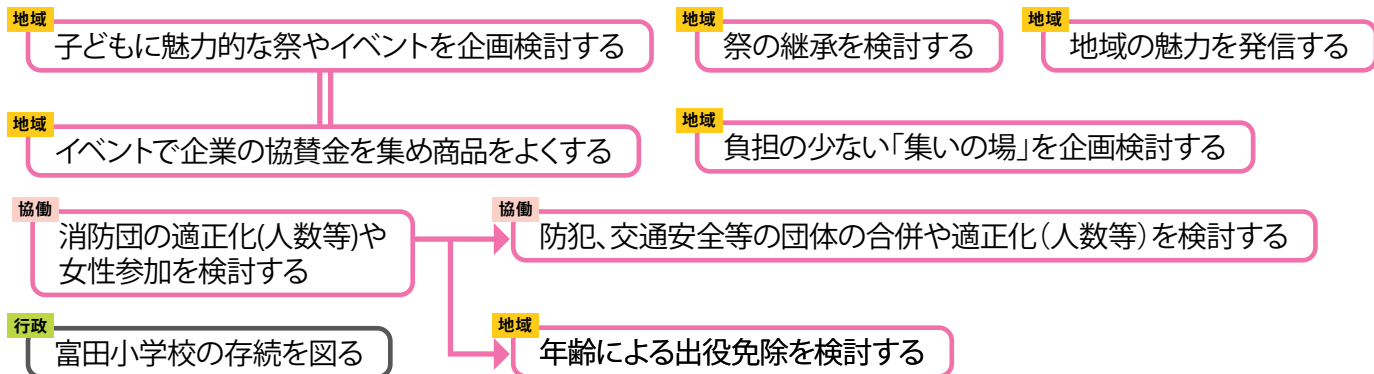
すぐに取り組むべき活動

時間をかけて取り組むべき活動

地域のつながり

富田小学校を中心に、参加しやすい地域団体と魅力的な行事でみんながつながるまち

活動のアイデア



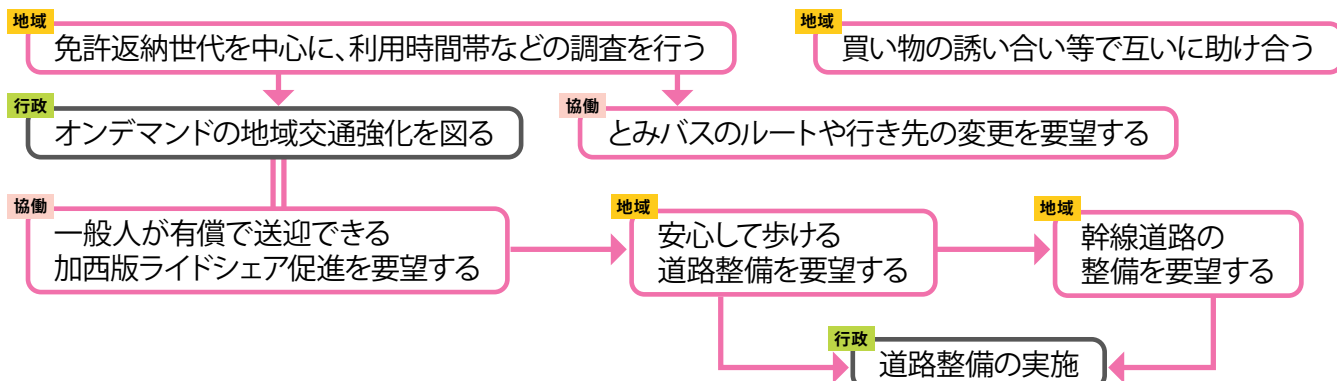
すぐに取り組むべき活動

時間をかけて取り組むべき活動

交 通

安心して歩ける道があり、買い物や通院に不便のないまち

活動のアイデア



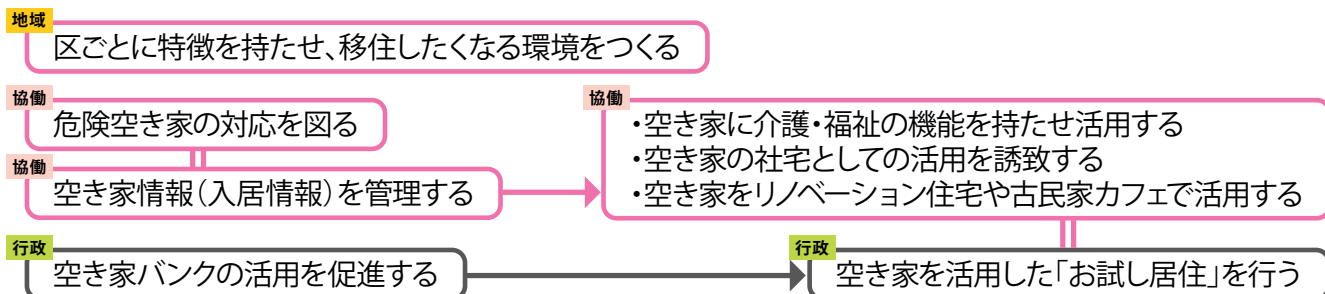
すぐに取り組むべき活動

時間をかけて取り組むべき活動

空き家・空き施設

使える空き家が流通し、福祉や住宅、カフェ等で活用され、みんなが暮らしたくなるまち

活動のアイデア



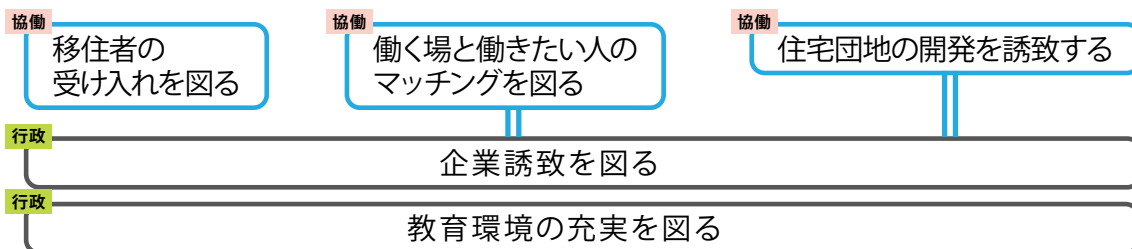
すぐに取り組むべき活動

時間をかけて取り組むべき活動

こども・若者

若い世代の働く場があり、子どもたちが戻ってくることができるまち

活動のアイデア



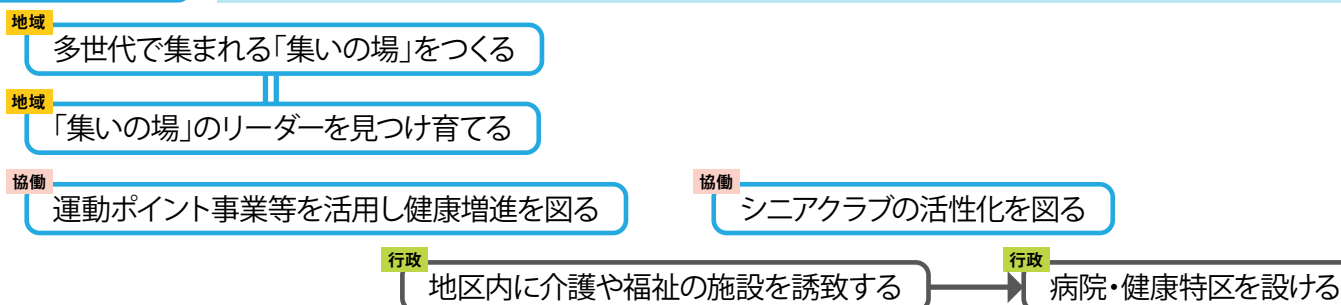
すぐに取り組むべき活動

時間をかけて取り組むべき活動

高齢者

高齢になっても話し相手があり、健康でいきいきと暮らしやすいまち

活動のアイデア



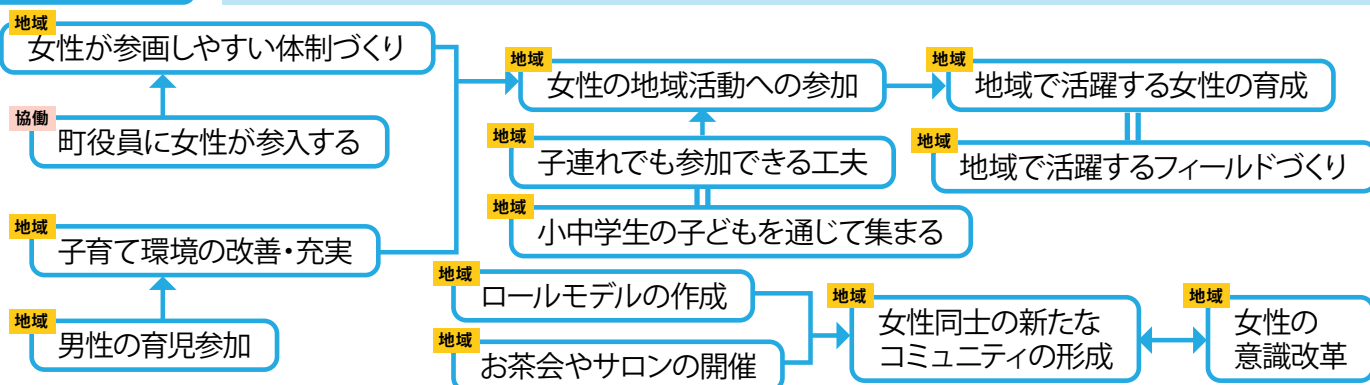
すぐに取り組むべき活動

時間をかけて取り組むべき活動

女性の参画

様々な改革を通して、女性が積極的に参画できるまち

活動のアイデア



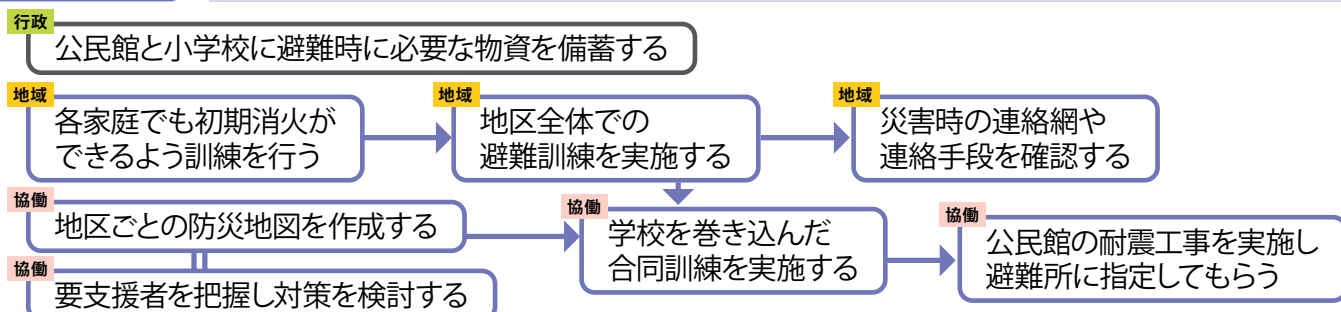
すぐに取り組むべき活動

時間をかけて取り組むべき活動

防災

防災拠点が整備され、大人も子どもも訓練を通じて災害対策ができるまち

活動のアイデア



すぐに取り組むべき活動

時間をかけて取り組むべき活動

富田まちづくり計画
受け継ごう 豊かな自然と歴史 ふれあう心
～ 暮らしたいまち 帰ってきたいふるさと 富田 ～

令和7年3月31日 第1版発行

編 集：策定委員会
発 行：富田まちづくり協議会
協 力：有限会社スタジオ・カタリスト
資料協力：加西市教育委員会